

# 京丹後市の教育及び産業等の現状について

---



令和5年2月9日  
京丹後市教育委員会事務局・市長公室

# <目 次>

- |   |            |         |
|---|------------|---------|
| 1 | 京丹後市の状況    | 2P～ 9P  |
| 2 | 学校及び子どもの状況 | 10P～47P |
| 3 | 教育の現状      | 48P～64P |
| 4 | 産業の現状      | 65P～69P |
| 5 | その他の取組     | 70P～73P |
| 6 | 参考         | 74P～77P |



# 1 京丹後市の状況 -市の概況-

○ 平成16年市制施行、人口約5万1千人。京都府及び近畿最北端に位置し、東西約35km、南北約30kmの広がりを持つ。

◆市制施行 平成16年4月  
(旧峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町が合併)

◆面積 501.44平方キロメートル

◆人口 50,860人(2020年国勢調査)

◆産業別就業者数(2015年国勢調査)

第1次産業: 2,317人

第2次産業: 8,331人

第3次産業: 16,365人

※分類不能: 1,444人

◆主要産業

- ・繊維・衣服製造業金属製品
- ・一般機械・輸送機械製造業
- ・農林水産業
- ・観光業



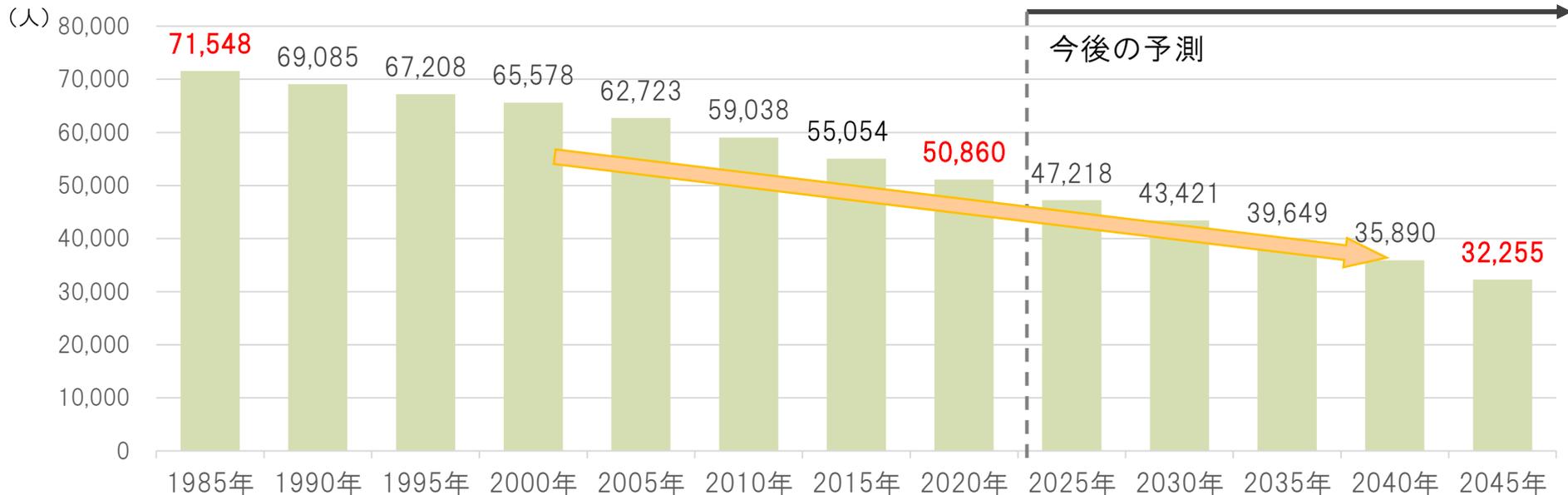
# 1 京丹後市の状況 -学校等の位置-

○ 中学校は旧町に1校(計6校)ずつあり、高校は学舎制をとっており、3校・4学舎となっている。



# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

- 戦後1950年(S25年)の83,000人をピークに人口減少が続いている。
- 15歳から64歳の生産年齢人口の割合が減少する一方で、65歳以上の割合が増加を続け、高齢化率は2045年(R27年)で49.6%の予測となっており、2人に1人が高齢者、さらに3人に1人が75歳以上の後期高齢者になるという推計。



(%)

年齢別割合	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0歳～14歳	21.7	19	17.5	16.2	15.1	13.6	12.2	11.2	10.3	9.7	9.3	9.1	8.9
15歳～64歳	61.9	62.1	60.3	58.5	56.9	55.4	52.5	50.7	49.2	47.4	45.7	42.8	41.5
65歳以上 ※高齢化率	16.4	18.9	22.2	25.3	28	30.9	35.3	38.1	40.5	42.9	45.0	48.1	49.6

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計

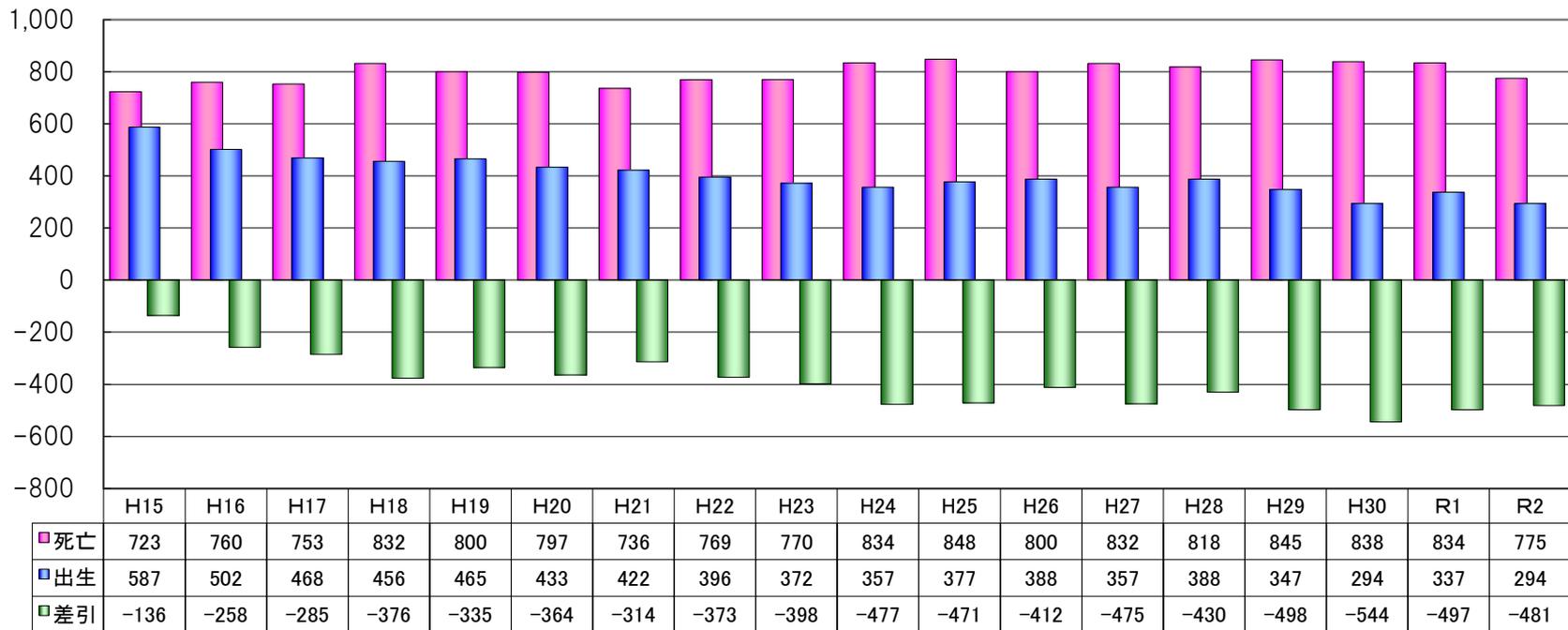


# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

- 出生と死亡に伴う人口の動きとなる自然動態は、死亡者数が概ね700人後半から800人程度のほぼ横ばいで推移。
- 出生数が減少傾向にあるため、自然減が拡大している状況。

出生・死亡者数の推移

単位：人



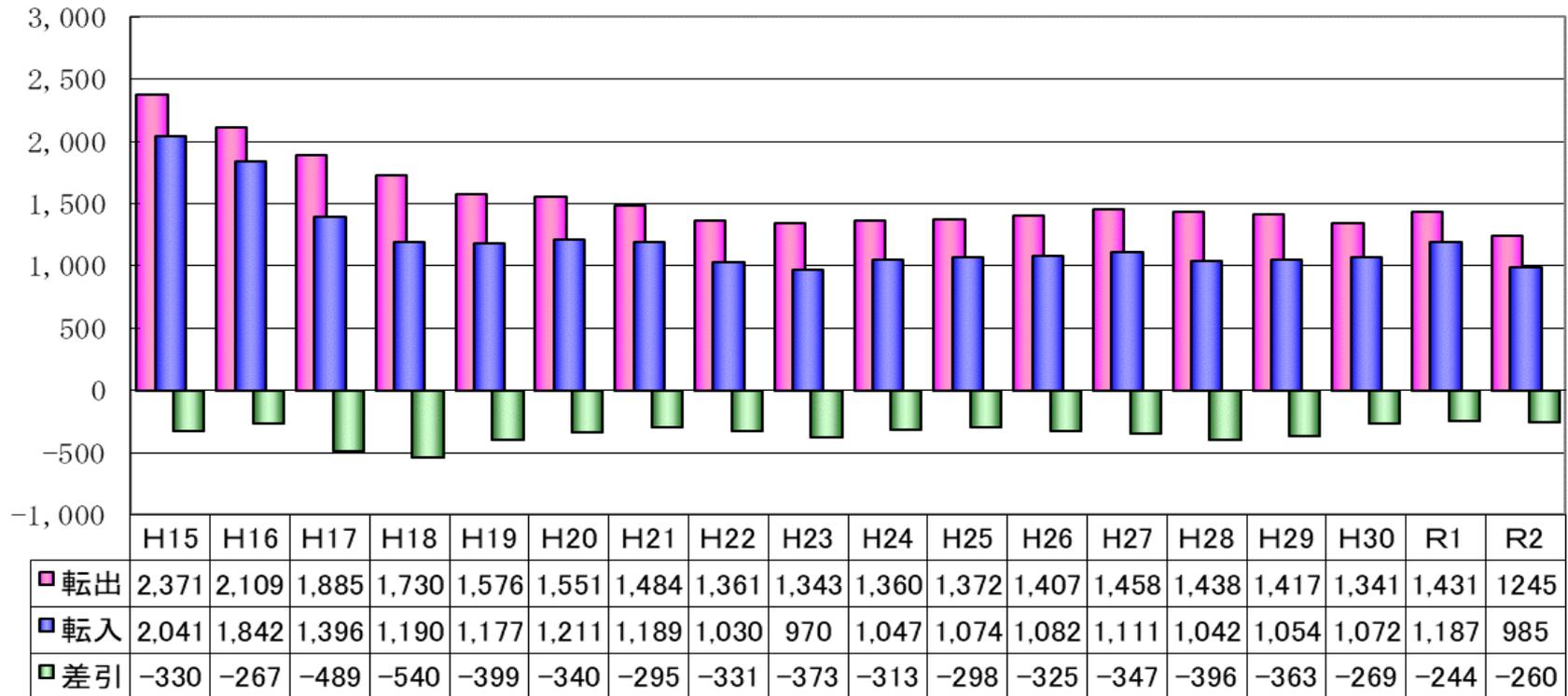
出典：京都府統計書・京都府推計実行調査より

# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

- 転入と転出の関係となる社会動態については、各年で概ねマイナス300人から400人の間で推移。
- 2018年(H30年)はマイナス269人、2019年(R1年)はマイナス244人、2020年(R2年)はマイナス260人と、減少幅は改善している状況。

転出・転入者数の推移(京都府統計書・京都府推計人口調査より)

単位：人

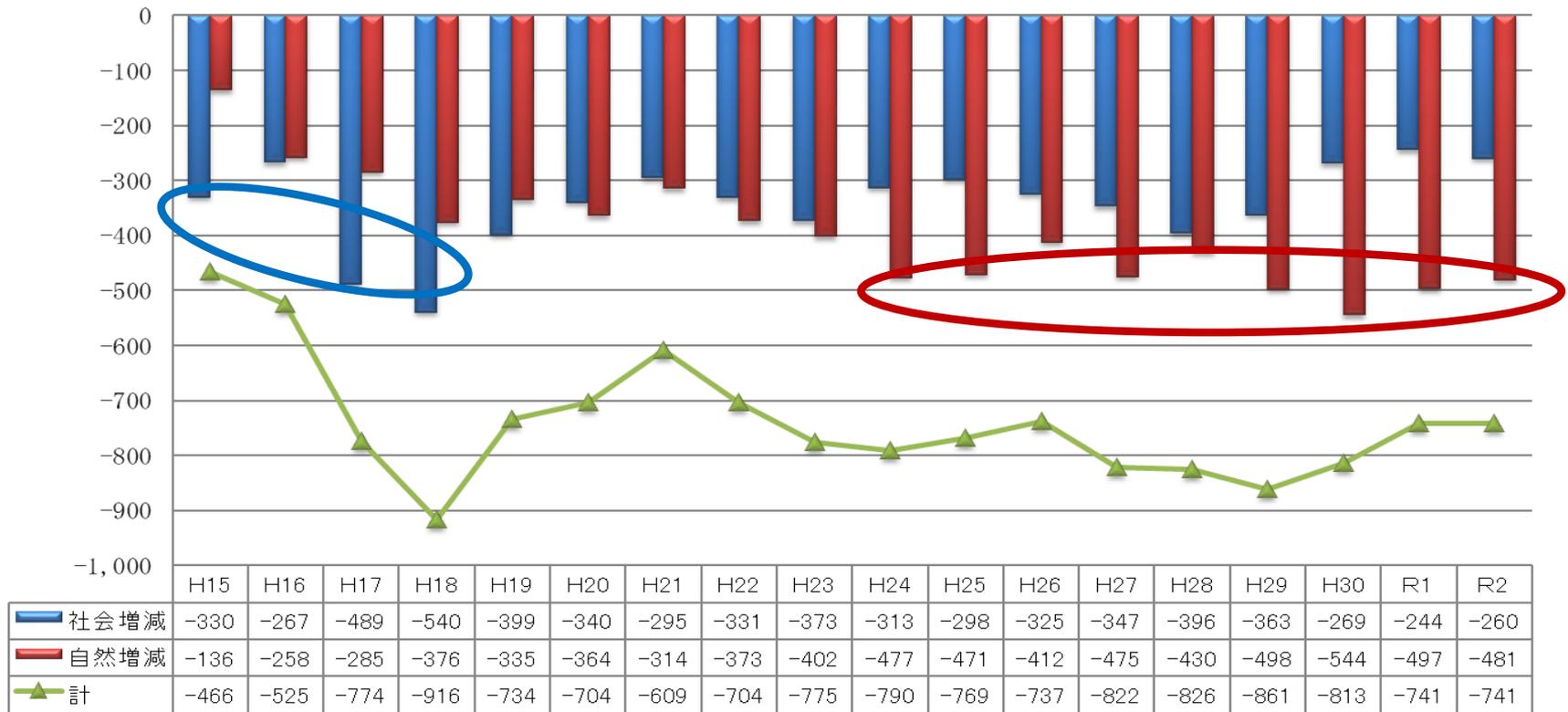


出典：京都府統計書・京都府推計実行調査より

# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

- 自然動態と社会動態を比較すると、2007年(H19年)までは社会減が自然減を上回っている状況であったが、2008年(H20年)以降は社会減より自然減が上回る状況が続いており、2012年(H24年)以降はその差が大きくなっている状況。

社会増減と自然増減の推移(京都府統計書・京都府推計人口調査より)

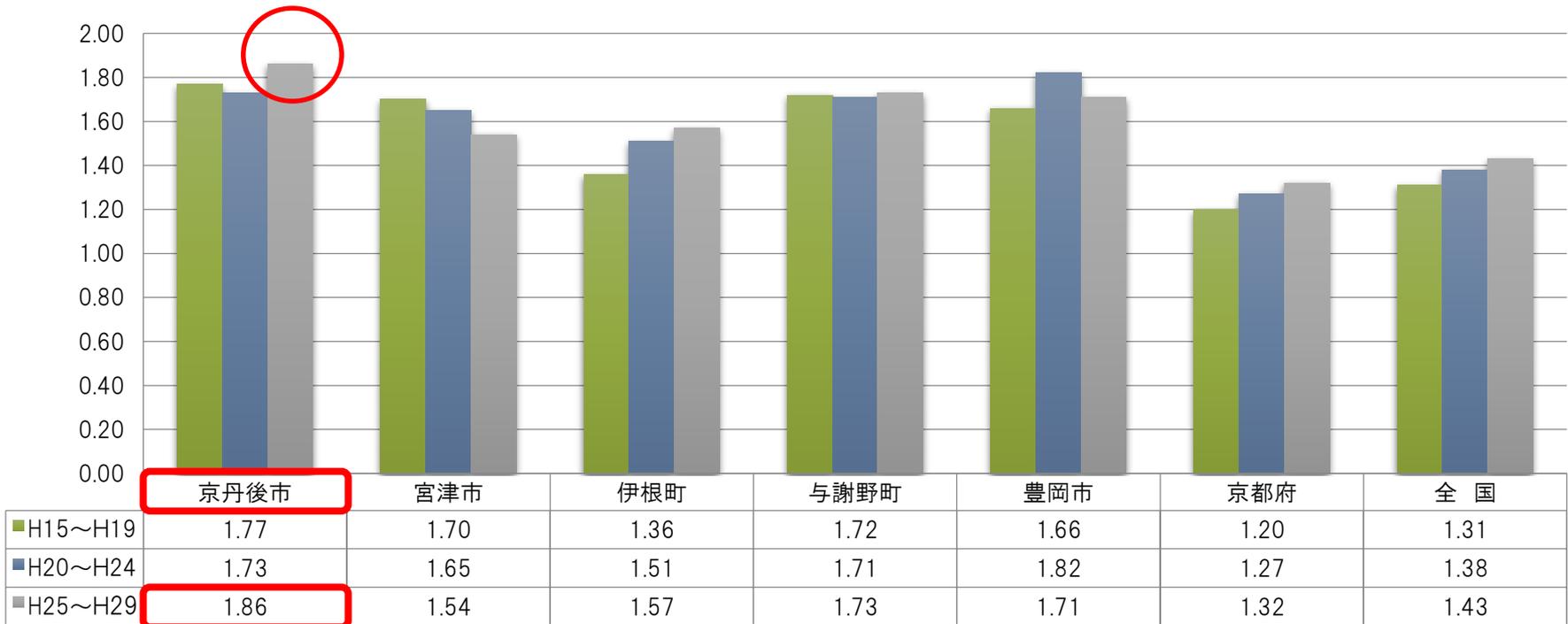


出典：京都府統計書・京都府推計実行調査より

# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

- 合計特殊出生率は、直近の数字が1.86となっており、前回調査の1.73から改善している。これは、近隣市町と比較しても高い状況となっている。

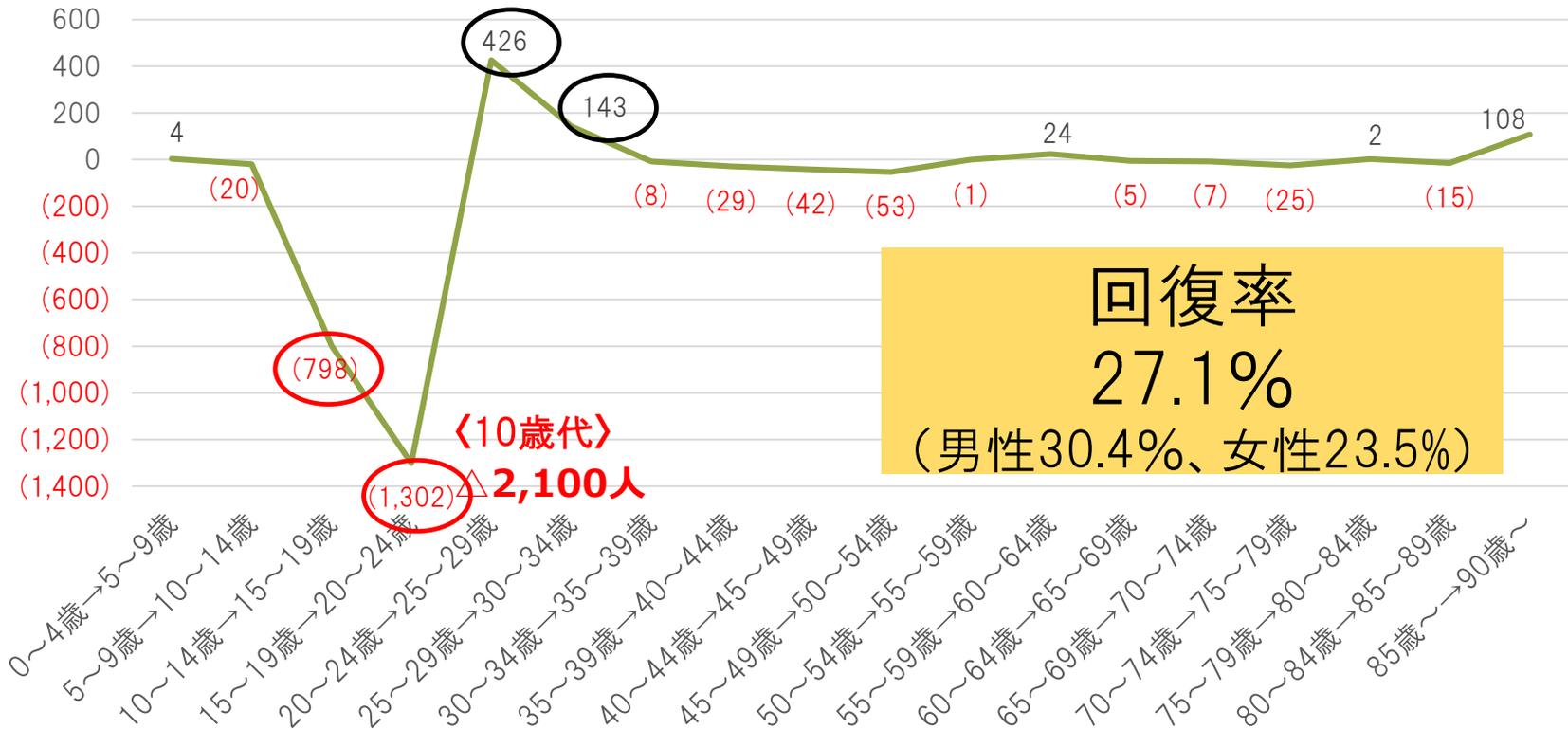
合計特殊出生率(ベイズ推定値)



# 1 京丹後市の状況 -人口の推移・推計-

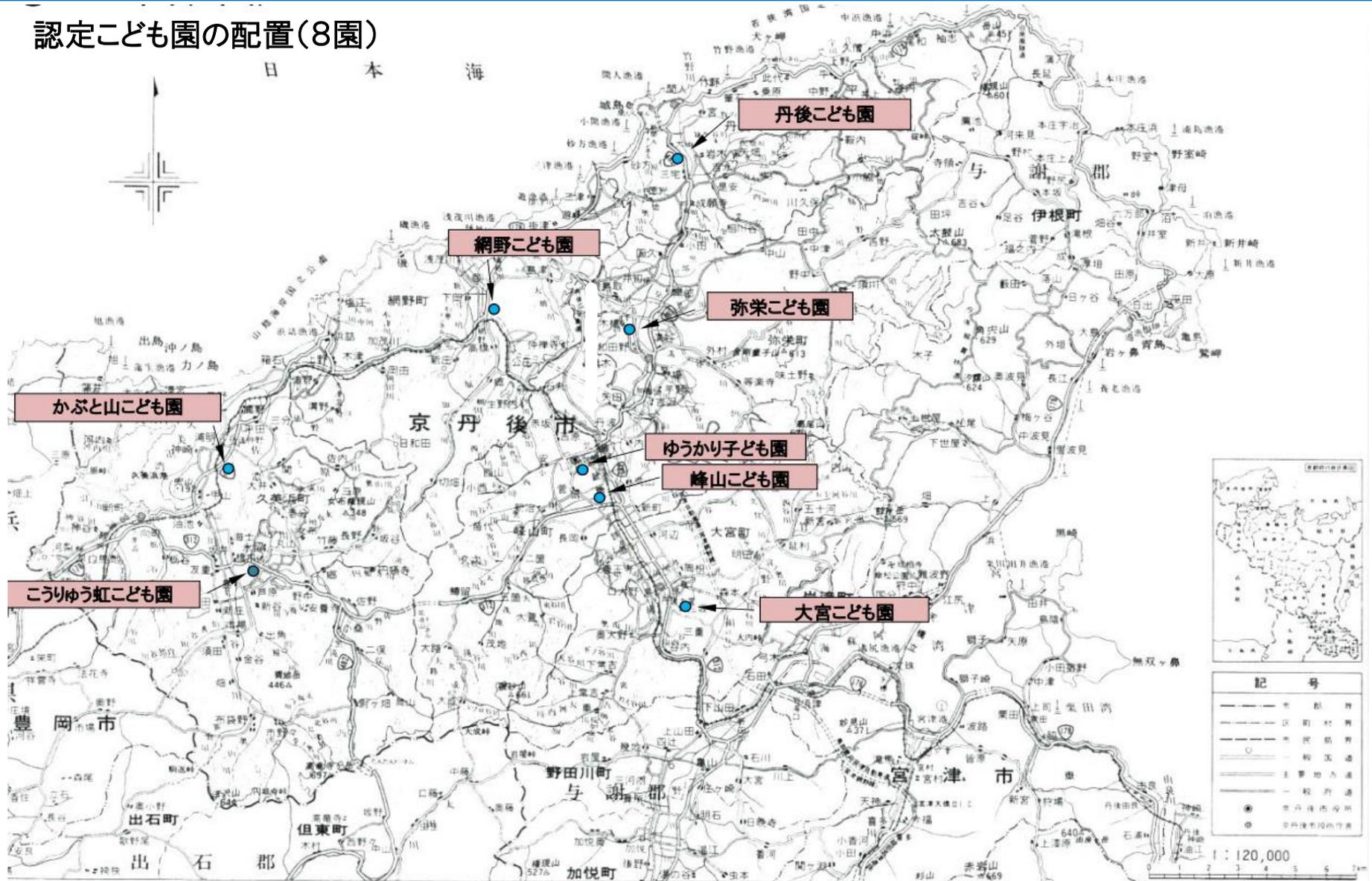
- 高校卒業後の進学や就職を契機として9割以上が転出し、10歳代での転出超過数が2,100人となっている。
- これ対し、20歳代での転入超過数が569人であり、若者回復率は27.1%となっている状況である。

若者回復率(2010年→2015年、20歳代転入超過数の10歳代転出超過数に対する割合)



## 2 学校及び子どもの状況 -学校等の配置状況-

### 認定こども園の配置(8園)



## 2 学校及び子どもの状況 -学校等の配置状況-

### 令和4年度認定こども園児童数等一覧

区分	施設名		定員	受入年齢	入園人数							
					児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
公立	峰山こども園	1号	40	3歳以上児	22	/	/	/	7	9	6	
		2・3号	260	6ヶ月以上児	222	19	32	41	37	49	44	
	大宮こども園	1号	40	3歳以上児	16	/	/	/	3	7	6	
		2・3号	240	6ヶ月以上児	139	11	24	23	27	26	28	
	網野こども園	1号	20	3歳以上児	11	/	/	/	5	2	4	
		2・3号	130	6ヶ月以上児	116	12	9	20	19	28	28	
	丹後こども園	1号	20	3歳以上児	4	/	/	/	0	1	3	
		2・3号	180	6ヶ月以上児	81	5	7	11	13	21	24	
	弥栄こども園	1号	20	3歳以上児	6	/	/	/	1	4	1	
		2・3号	140	6ヶ月以上児	138	10	16	24	31	28	29	
	かぶと山こども園	1号	20	3歳以上児	10	/	/	/	6	0	4	
		2・3号	140	6ヶ月以上児	96	7	11	18	17	23	20	
	計					861	64	99	137	166	198	197
	私立	ゆうかり子ども園	1号	12	3歳以上児	5	/	/	/	3	2	0
2・3号			138	6ヶ月以上児	155	10	23	24	29	30	39	
こうりゅう虹こども園		1号	9	3歳以上児	12	/	/	/	4	5	3	
		2・3号	120	6ヶ月以上児	106	9	12	20	22	22	21	
計					278	19	35	44	58	59	63	
合計					1,139	83	134	181	224	257	260	

出典：市教育委員会事務局



## 2 学校及び子どもの状況 -学校等の配置状況-

小・中学校の配置(小学校17校、中学校6校)



## 2 学校及び子どもの状況 -学校等の配置状況-

- 小学校17校中、「標準規模」1校、「小規模」15校、「過小規模」1校。
- 中学校6校は、いずれも「標準規模」(12学級～18学級)に満たない状況。

### 令和4年度 児童生徒数&学級編成

児童生徒数の状況(特別支援学級含む)

学校名	人 数							学級
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
峰山小学校	23	15	16	18	27	19	118	8
いさなご小学校	52	38	36	31	28	21	206	10
しんざん小学校	35	34	34	30	35	32	200	9
長岡小学校	9	10	11	9	10	9	58	6
大宮第一小学校	77	83	67	70	60	69	426	18
大宮南小学校	12	11	15	16	18	13	85	7
網野北小学校	27	27	28	29	32	36	179	9
網野南小学校	18	24	29	26	26	26	149	8
島津小学校	9	9	10	9	10	10	57	8
橘小学校	14	17	15	12	17	16	91	8
丹後小学校	19	26	23	18	14	23	123	8
宇川小学校	5	8	4	11	6	8	42	6
吉野小学校	7	6	9	15	12	9	58	7
弥栄小学校	25	27	21	25	18	26	142	7
久美浜小学校	16	19	22	16	25	12	110	8
高龍小学校	35	18	31	26	28	18	156	8
かぶと山小学校	17	24	14	36	22	25	138	9
合計	400	396	385	397	388	372	2,338	144

特別支援学級の状況

人 数								学級
1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
1	1	0	2	3	1	8	2	
1	0	1	0	1	0	3	2	
1	0	4	1	0	1	7	3	
0	0	0	0	0	0	0	0	
1	2	4	2	4	0	13	3	
1	1	0	0	0	1	3	1	
1	0	2	4	3	4	14	3	
4	0	1	2	2	0	9	2	
1	0	1	1	0	0	3	2	
0	1	1	0	1	0	3	2	
1	0	3	0	1	0	5	2	
0	0	0	1	0	1	2	1	
0	0	0	1	0	0	1	1	
0	0	1	0	0	2	3	1	
2	1	3	2	2	0	10	2	
1	0	1	1	1	1	5	2	
0	0	2	1	2	0	5	2	
15	6	24	18	20	11	94	31	

普通学級の状況(実学級数)

令和4年5月1日現在												合計	
1年		2年		3年		4年		5年		6年		人数	学級
人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級		
22	1	14	1	16	1	16	1	24	1	18	1	110	6
51	2	38	2	35	1	31	1	27	1	21	1	203	8
34	1	34	1	30	1	29	1	35	1	31	1	193	6
9	1	10	1	11	1	9	1	10	1	9	1	58	6
76	3	81	3	63	2	68	2	56	2	69	3	413	15
11	1	10	1	15	1	16	1	18	1	12	1	82	6
26	1	27	1	26	1	25	1	29	1	32	1	165	6
14	1	24	1	28	1	24	1	24	1	26	1	140	6
8	1	9	1	9	1	8	1	10	1	10	1	54	6
14	1	16	1	14	1	12	1	16	1	16	1	88	6
18	1	26	1	20	1	18	1	13	1	23	1	118	6
5	1	8	0	4	1	10	1	6	1	7	1	40	5
7	1	6	1	9	1	14	1	12	1	9	1	57	6
25	1	27	1	20	1	25	1	18	1	24	1	139	6
14	1	18	1	19	1	14	1	23	1	12	1	100	6
34	1	18	1	30	1	25	1	27	1	17	1	151	6
17	1	24	1	12	1	35	2	20	1	25	1	133	7
385	20	390	19	361	18	379	19	368	18	361	19	2,244	113

学校名	人 数				学級
	1年	2年	3年	合計	
峰山中学校	94	108	108	310	14
大宮中学校	87	90	84	261	11
網野中学校	74	101	93	268	11
丹後中学校	48	38	41	127	7
弥栄中学校	35	32	43	110	5
久美浜中学校	71	71	67	209	8
合計	409	440	436	1,285	56

人 数				学級
1年	2年	3年	人数	
4	8	8	20	4
1	3	1	5	2
3	8	3	14	3
2	0	1	3	1
0	1	1	2	1
2	4	3	9	2
12	24	17	53	13

1年		2年		3年		合計	
人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
90	3	100	4	100	3	290	10
86	3	87	3	83	3	256	9
71	2	93	3	90	3	254	8
46	2	38	2	40	2	124	6
35	1	31	1	42	2	108	4
69	2	67	2	64	2	200	6
397	13	416	15	419	15	1,232	43

出典:市教育委員会事務局



## 2 学校及び子どもの状況 -学校等の配置状況-

○ 府立高等学校は、丹後管内に5校・7学舎、京丹後市内に3校・4学舎が配置されている。

### 丹後管内府立高等学校一覧

令和4年5月1日現在

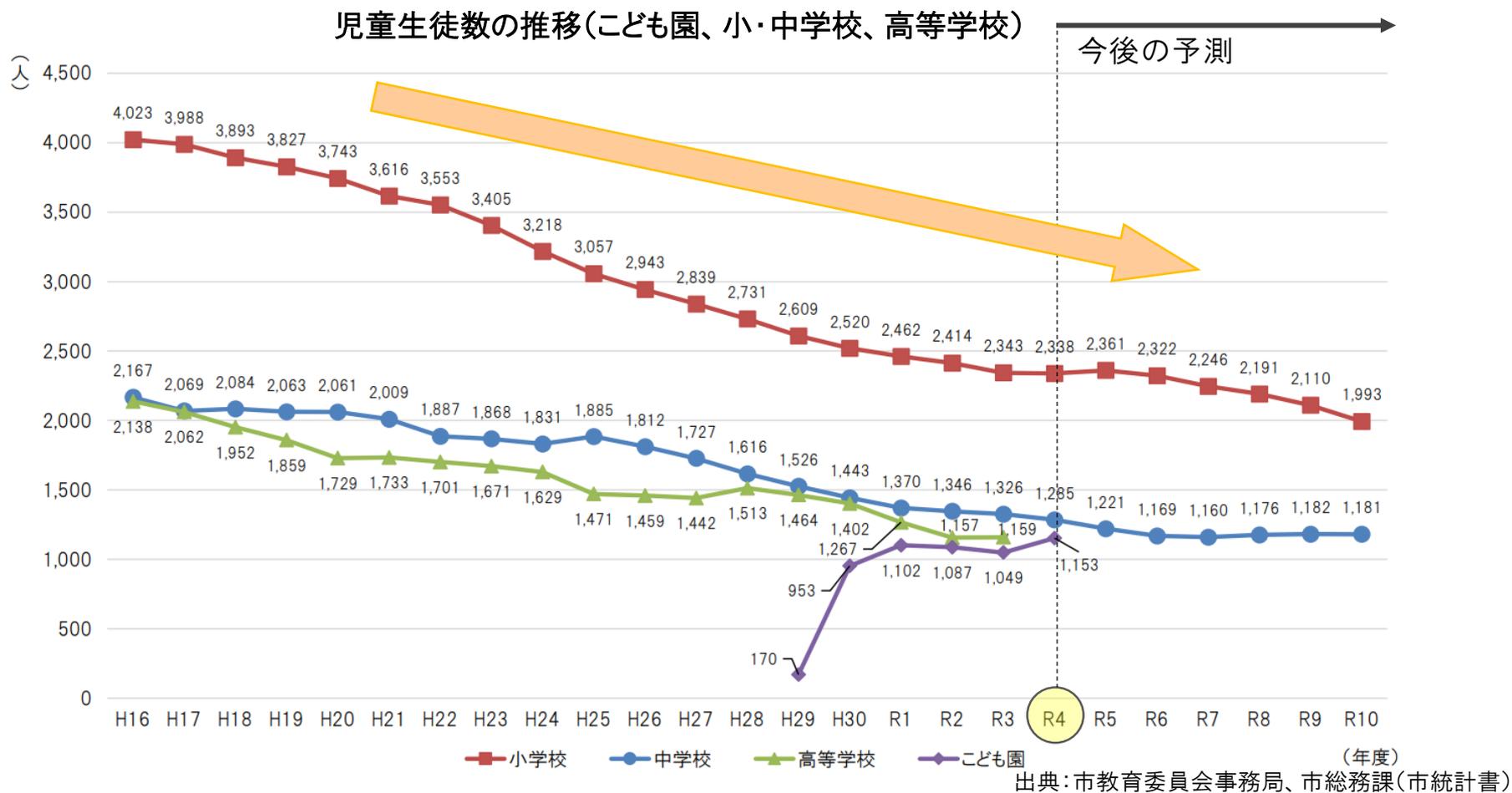
学校名	所在市町村	課程	学科	生徒数
海洋高等学校	宮津市	全日制	1年生…海洋学科群 2・3年生…海洋科学科、海洋工学科、海洋資源科	252
宮津天橋高等学校宮津学舎	宮津市	全日制	普通科 建築科(学コース、匠コース)	444
宮津天橋高等学校加悦谷学舎	与謝野町	全日制	普通科(1年次:習熟度別クラス編成、2～3年次:アドバンスコース、スタンダードコース、アスリートスポーツコース)	225
峰山高等学校	京丹後市	全日制	普通科(文理探究(文系)、文理探究(理系)) 機械創造科	556
丹後緑風高等学校網野学舎	京丹後市	全日制	普通科(総合コース、探究コース) 企画経営科	282
丹後緑風高等学校久美浜学舎	京丹後市	全日制	アグリサイエンス科(農業系:生産コース・食品コース) みらいクリエイト科(普通科系)	87
清新高等学校	京丹後市	定時制	総合学科(文化教養系列、自然共生系列、ライフデザイン系列(食分野/ファッション分野))	177

出典:2022京都府立高等学校スクールガイドより



## 2 学校及び子どもの状況 -児童生徒数推移・推計-

- 少子化の影響等により、小、中、高とも減少傾向にある。
- こども園(3歳以上児)は、保育ニーズの高まりにより横ばい～増加傾向にある。

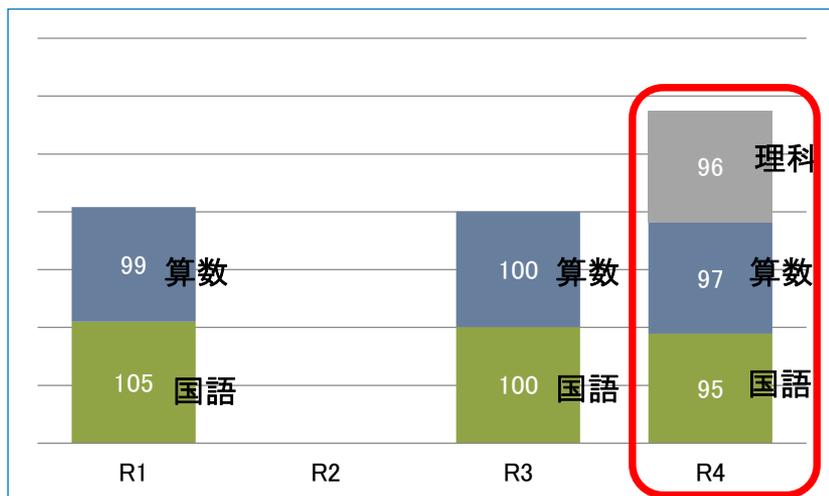


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

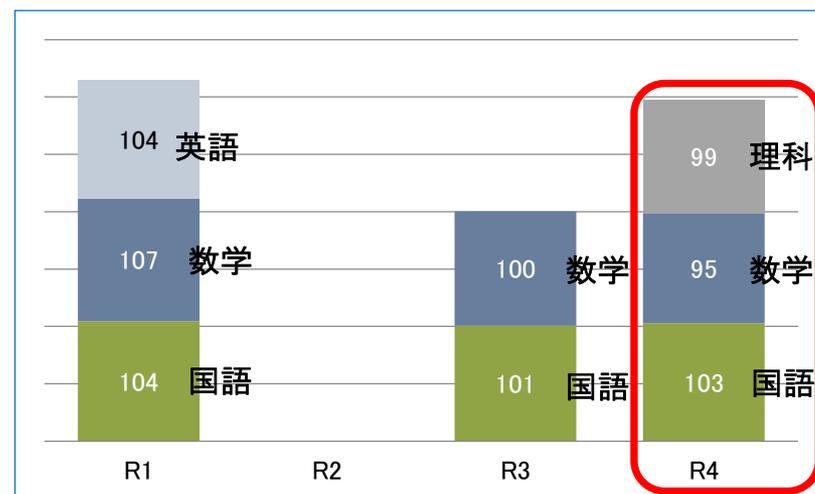
○ 各科目別の学力について、令和4年度は、中学校国語以外のすべての教科で全国平均正答率を下回る結果となった。

一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着  
(全国の平均正答率を100として標準化した数値)

### ■小学6年生



### ■中学3年生



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

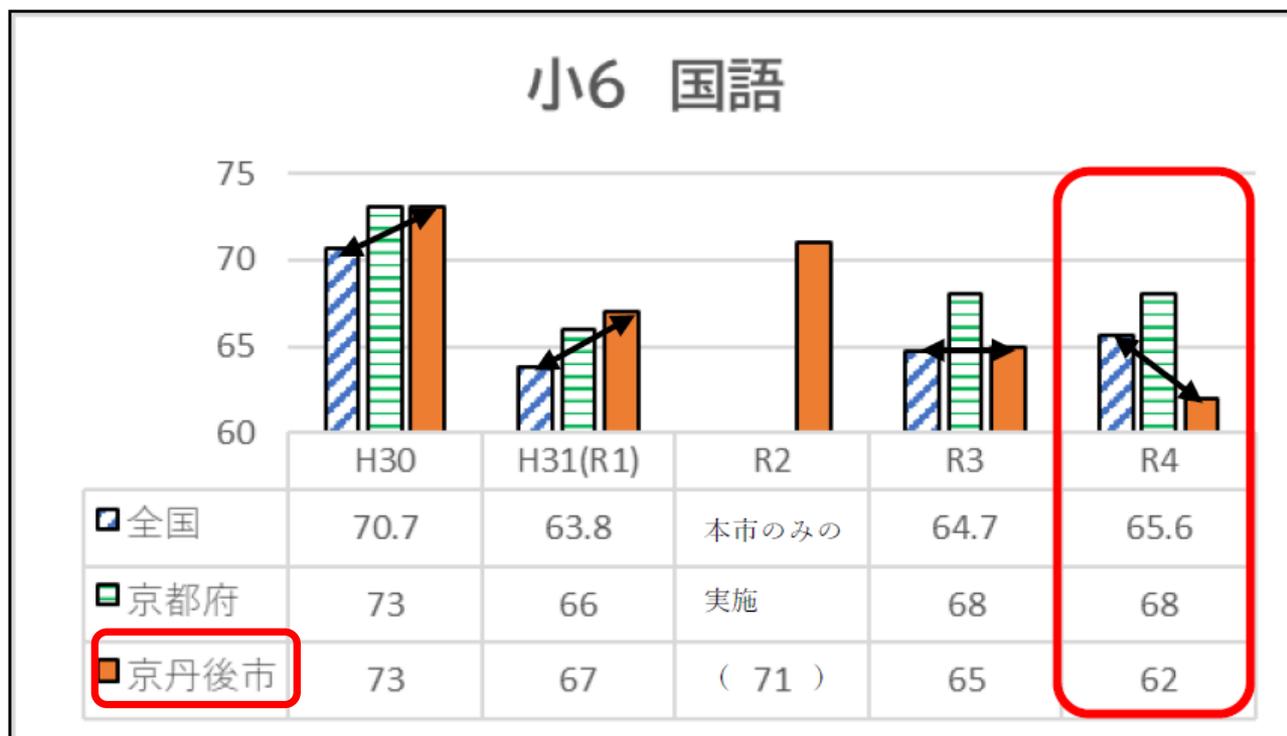


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【小6 国語】

○ H30～R3にかけて全国平均を上回ったが、R4は全国平均を下回った。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

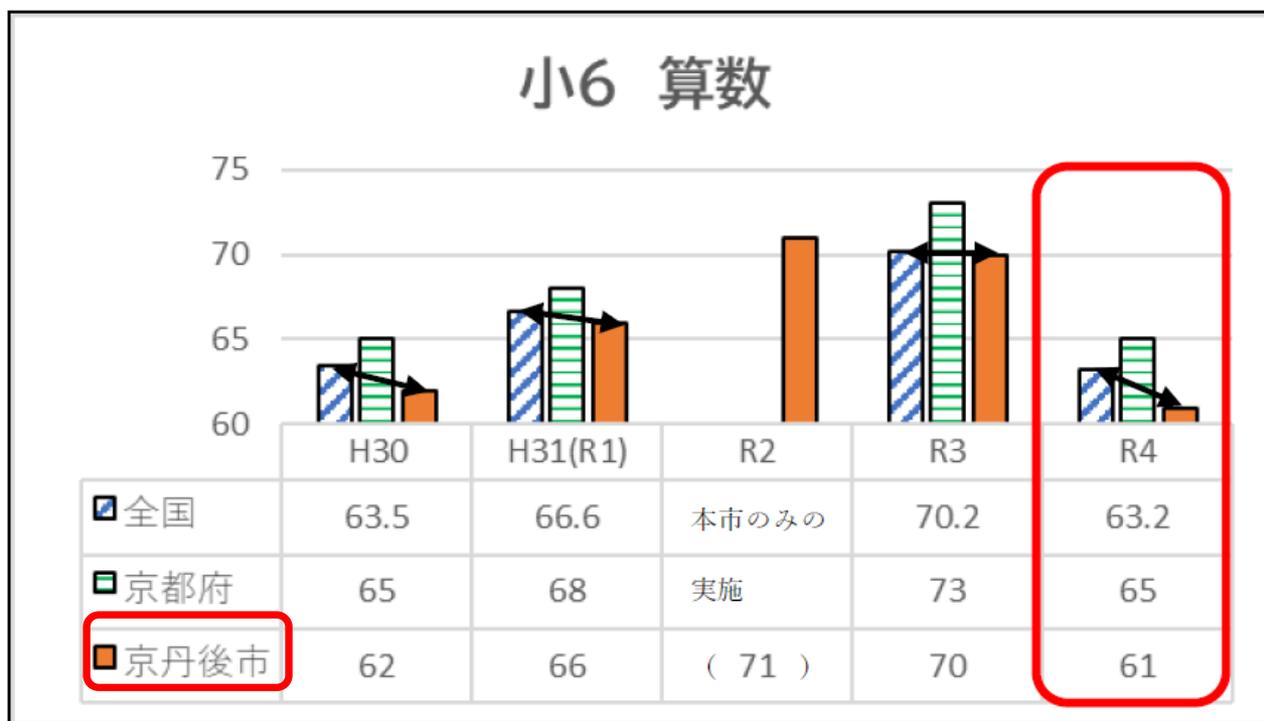


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【小6 算数】

○ R3のみ全国平均と同等だったが、R3を除くと全国平均を下回っている。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

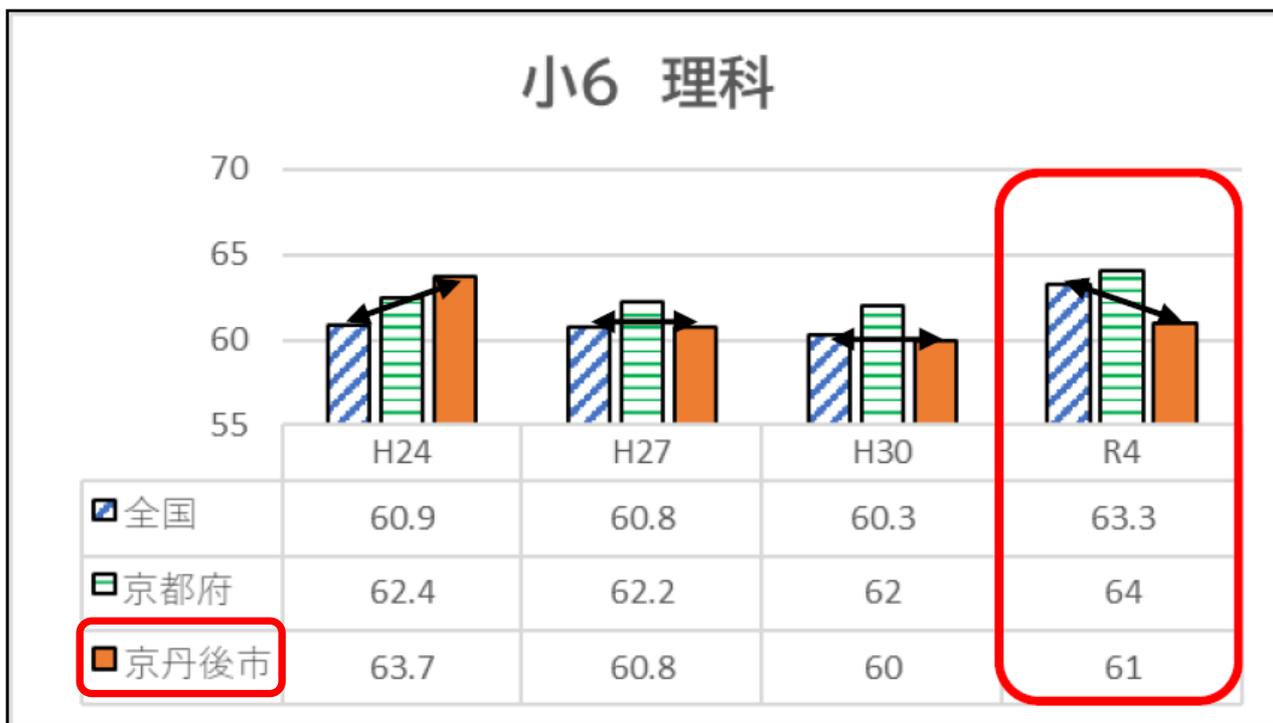


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【小6 理科】

○ H30までは全国平均以上又は同等であったが、R4は全国平均を下回った。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



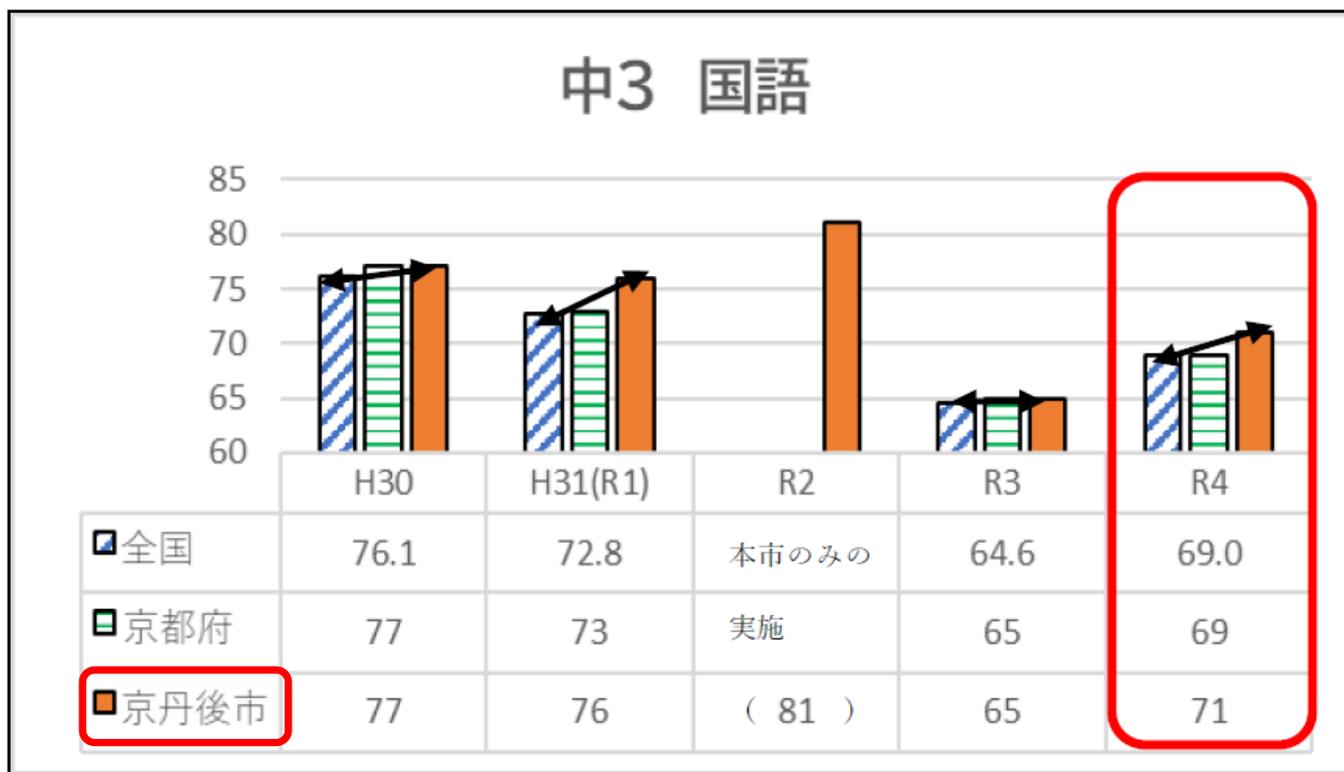
出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

## 2 学校及び子どもの状況

### 【中3 国語】

○ H30～R4にかけて、毎年、全国平均を上回った。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

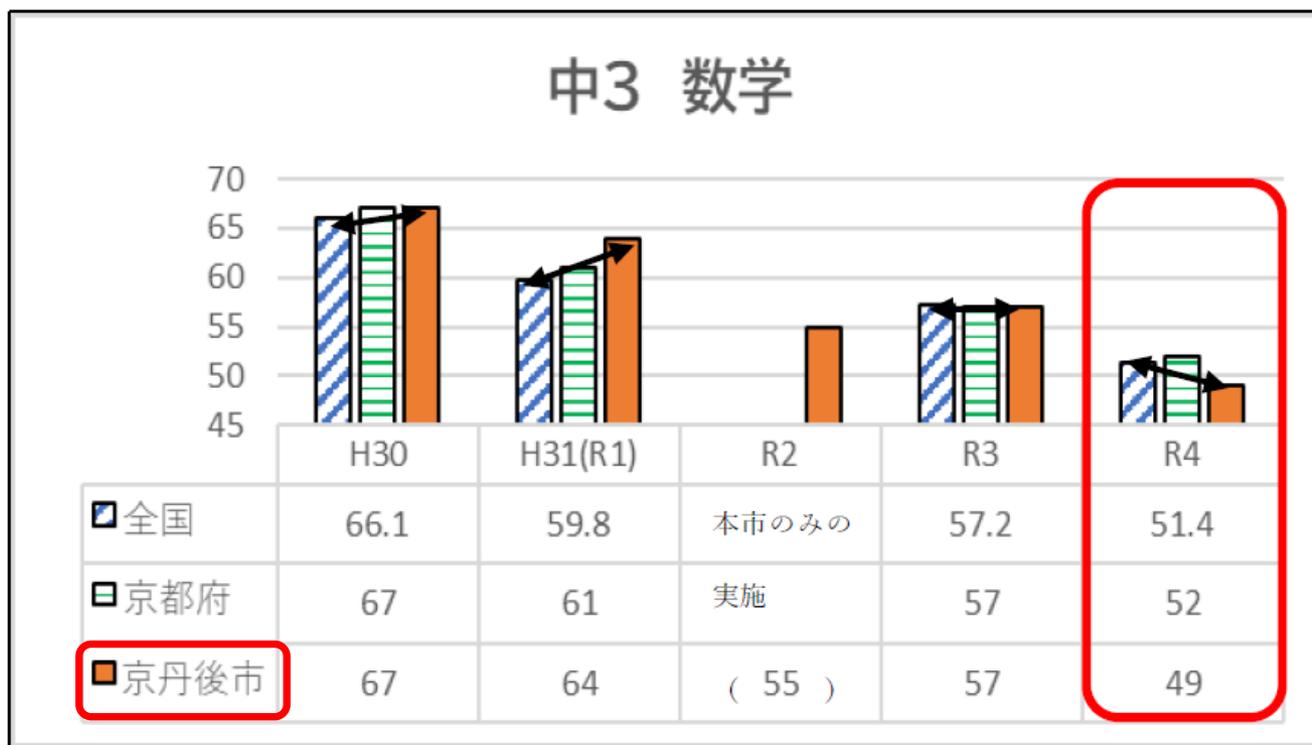


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【中3 数学】

○ H30・H31は全国平均を上回っていたが、R3は全国平均と同等、R4は全国平均を下回った。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

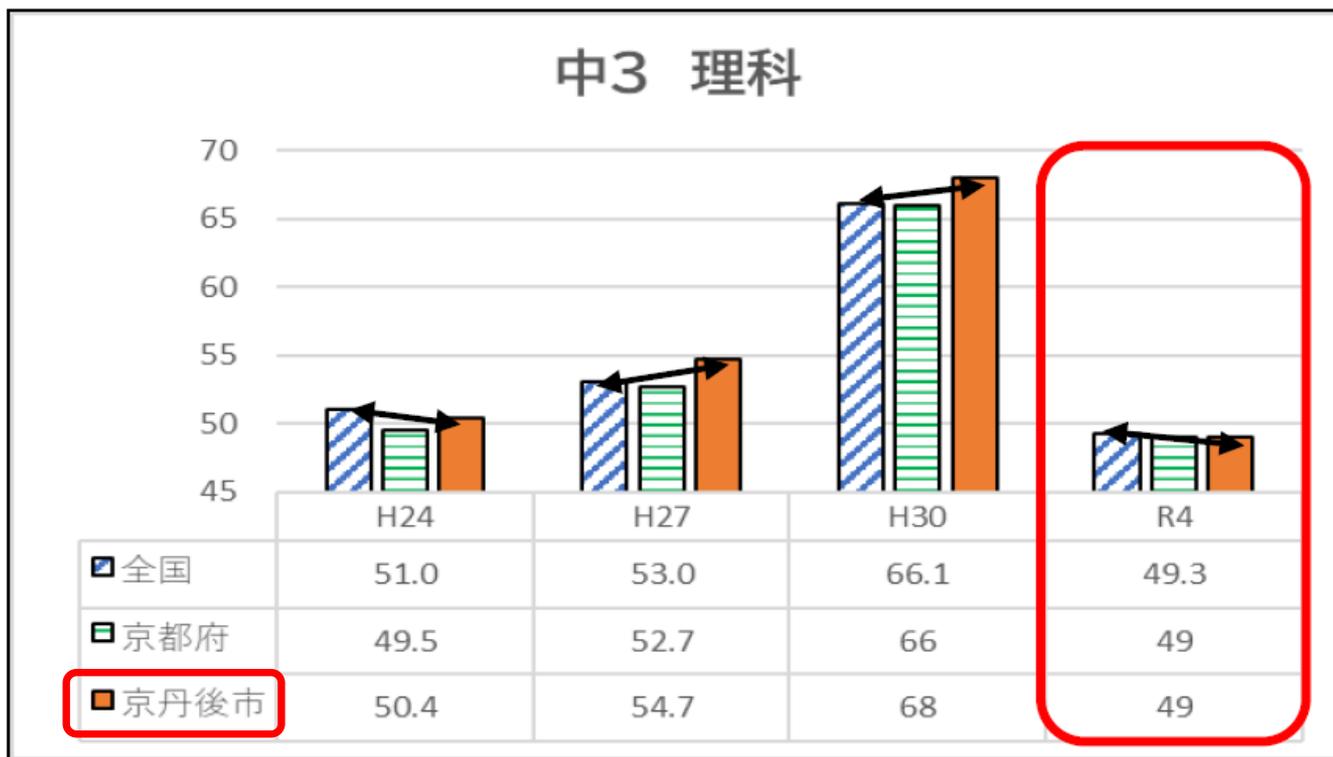


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【中3 理科】

○ H27・H30は全国平均を上回ったが、R4は全国平均を下回った。

平均正答率の経年変化(↔:全国との比較)



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



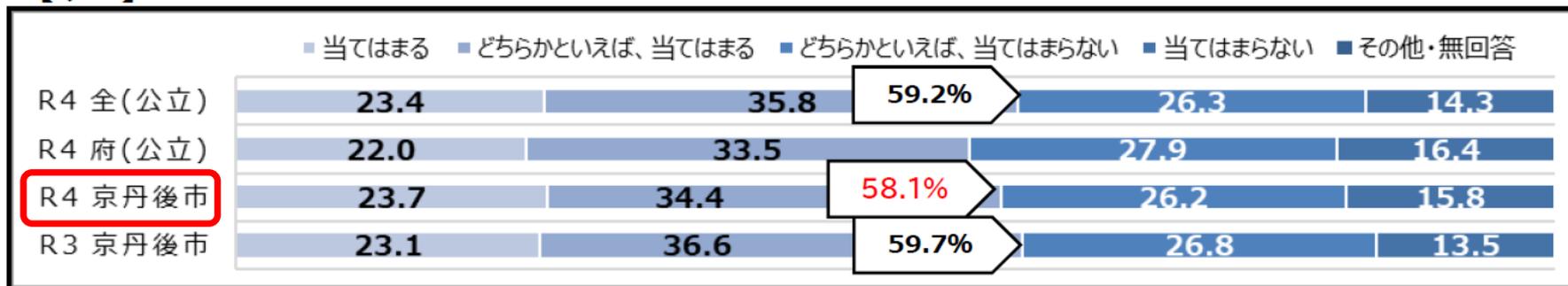
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【国語は好きだ】

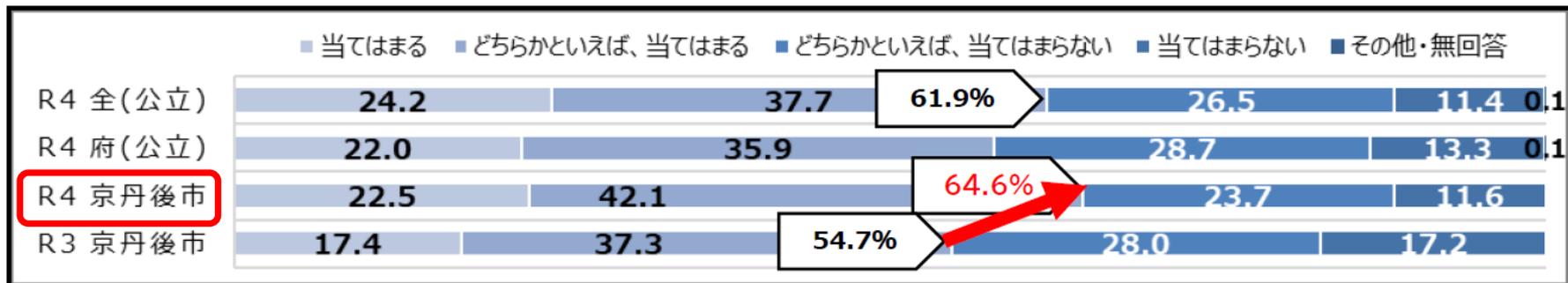
○ 中3では、全国よりも肯定的回答の割合が高く、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

### 国語は好きだ

#### 【小6】



#### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



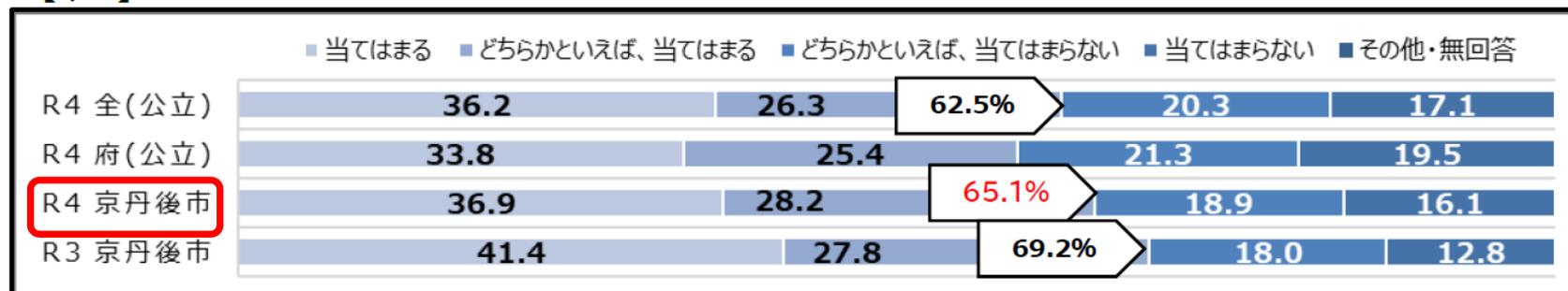
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【数学(算数)は好きだ】

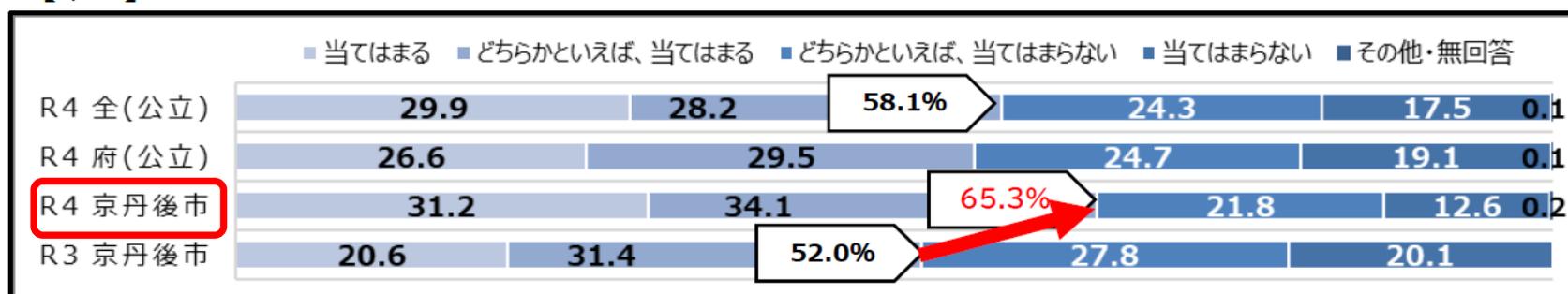
- 小6・中3ともに、全国よりも肯定的回答の割合が高い。
- 中3では、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

### 算数(数学)は好きだ

#### 【小6】



#### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



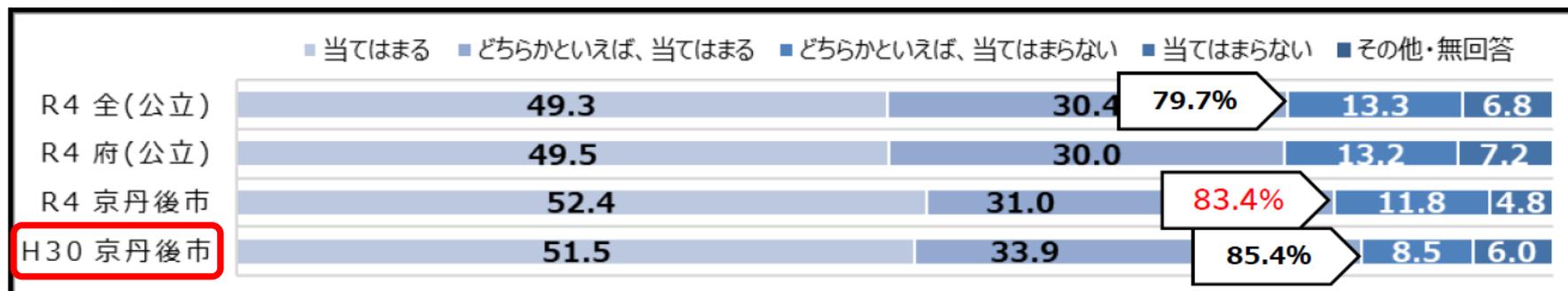
## 2 学校及び子どもの状況

### 【理科は好きだ】

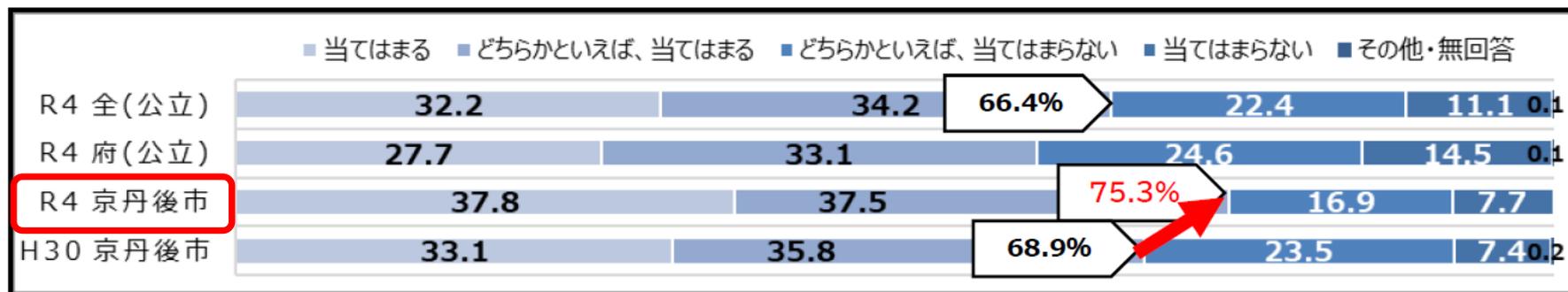
- 小6・中3ともに、全国よりも肯定的回答の割合が高い。
- 中3では、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

#### 【小6】

#### 理科の勉強は好きだ



#### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



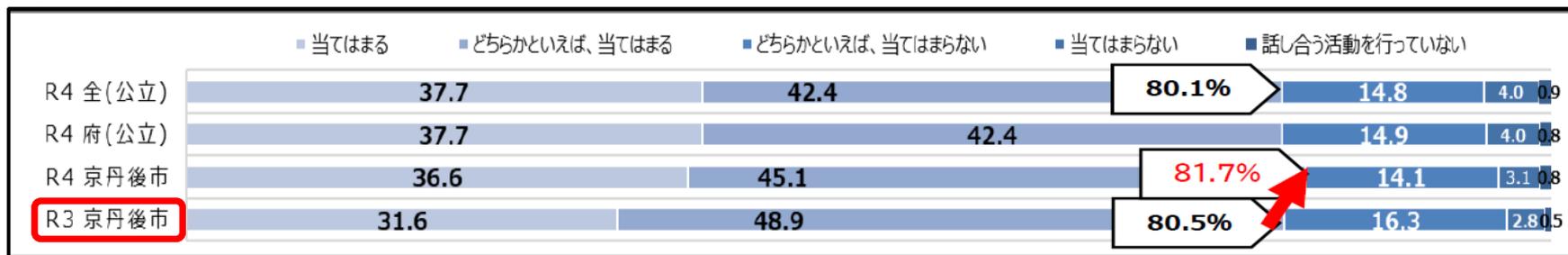
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

【自分の考えを深める、広げる】

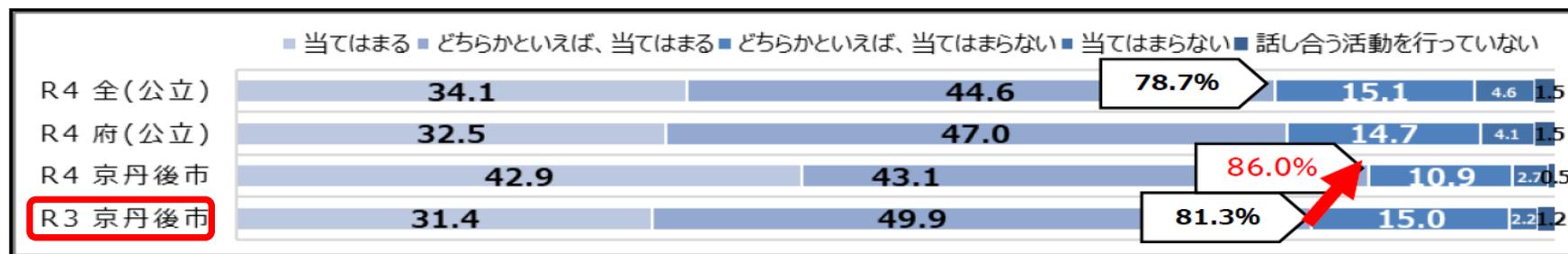
- 小6・中3ともに、全国よりも肯定的回答の割合が高い。
- 小6・中3ともに、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、  
自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

【小6】



【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



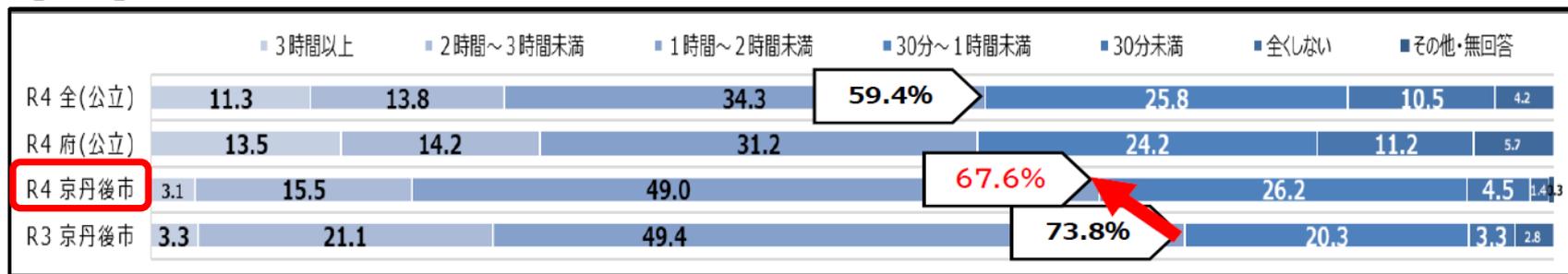
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【1日の勉強時間】

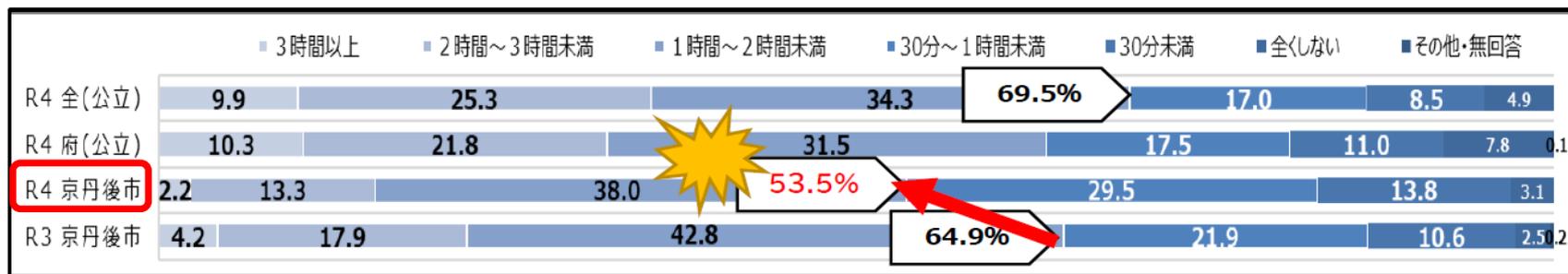
- 小6では、全国よりも「1時間以上勉強をする」児童の割合が高いが、令和3年度よりも割合が低くなった。
- 中3では、全国よりも「1時間以上勉強をする」生徒の割合が低く、令和3年度よりも大幅に割合が低くなった。

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾、家庭教師、ネット活用含む。)

### 【小6】



### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



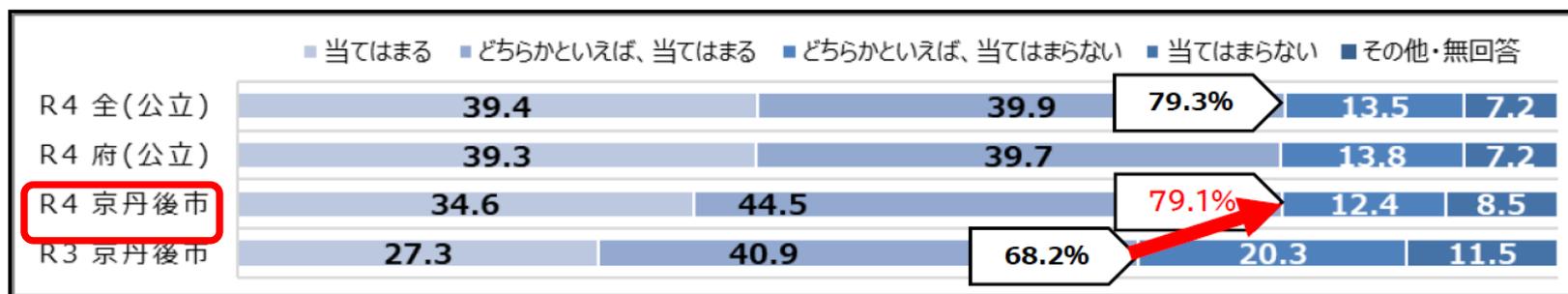
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

【自分にはよいところがある】

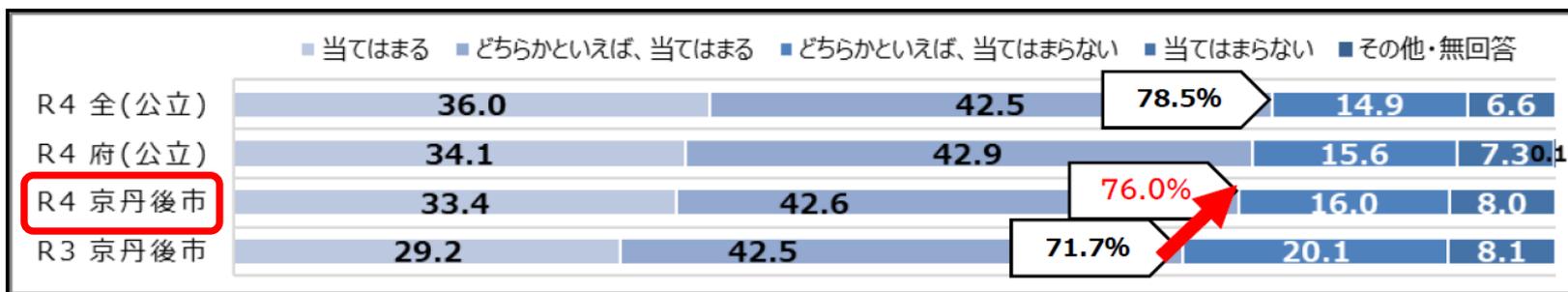
○ 小6・中3ともに、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

自分には、よいところがある。

【小6】



【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



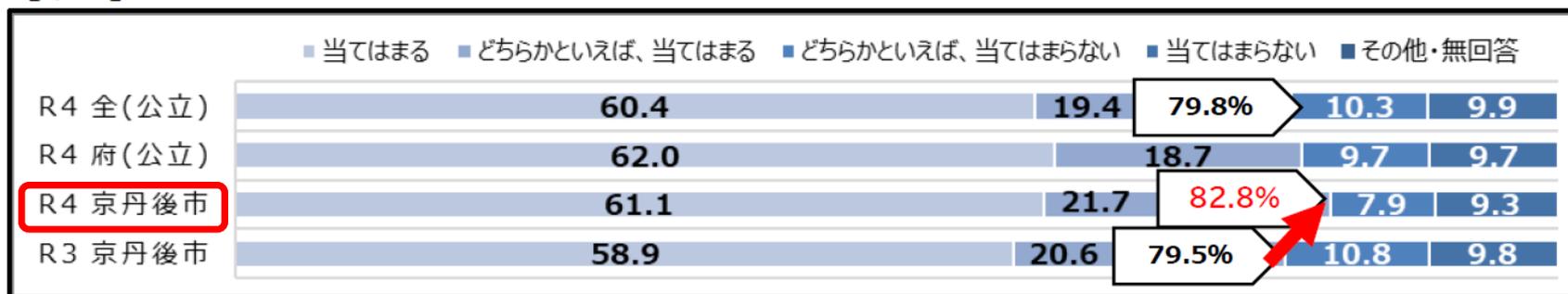
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【将来の夢や希望】

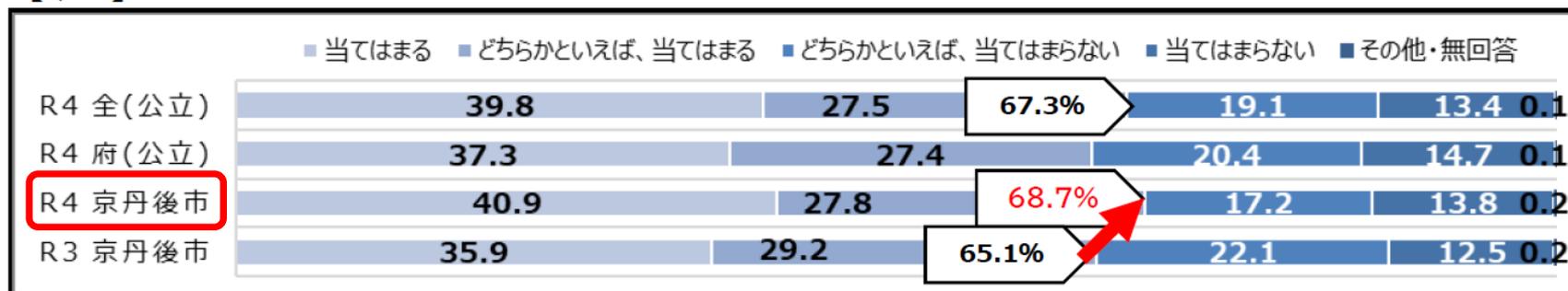
- 小6・中3ともに、全国よりも肯定的回答の割合が高い。
- 小6・中3ともに、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

### 将来の夢や希望を持っている。

#### 【小6】



#### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



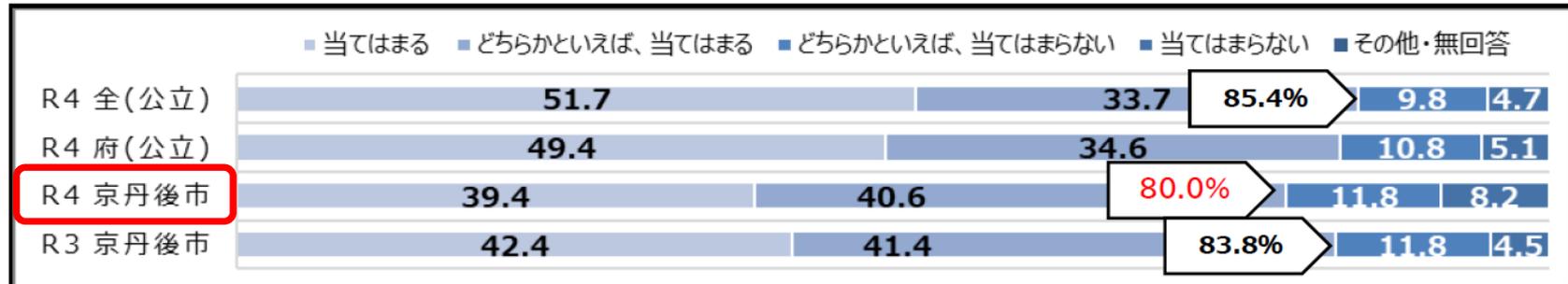
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【学校へ行くのは楽しい】

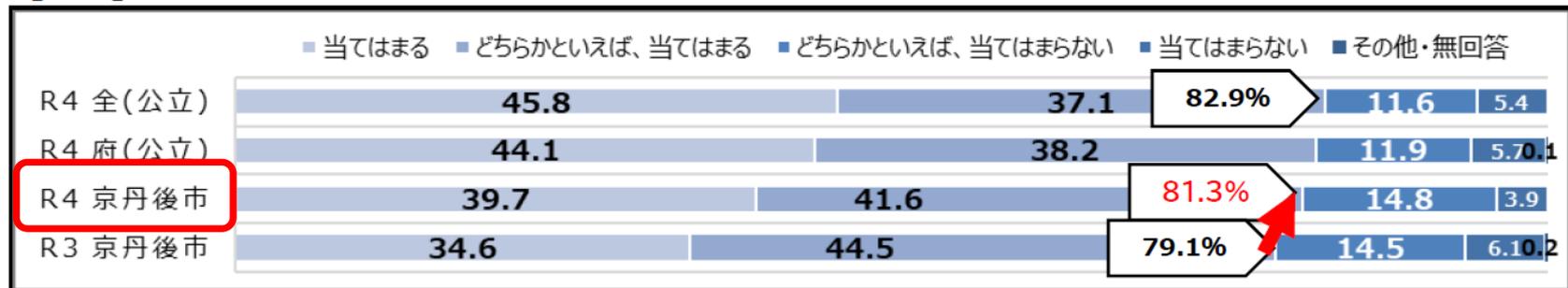
- 小6では、全国より肯定的回答の割合が低い。
- 中3では、令和3年度よりも肯定的回答の割合が高くなった。

学校へ行くのは楽しいと思う。

### 【小6】



### 【中3】



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【ICTの授業での使用率】

○ 小学校・中学校ともに、府・全国よりも授業での使用率が高い。

#### ■授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。

(小6) 週1回以上と回答した割合は、**89.0%** (府 87.1%、全国 83.2%)

(中3) 週1回以上と回答した割合は、**96.9%** (府 88.4%、全国 80.6%)

☆ (学校質問紙・小学校) 週3回以上と回答した割合は、**100%** (府 92.4%、全国 85.1%)

☆ (学校質問紙・中学校) 週3回以上と回答した割合は、**100%** (府 91.8%、全国 81.2%)

出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【ICT機器：勉強の役に立つ】

○ 小6・中3ともに、府・全国よりも肯定的回答の割合が高い。

### 【ICT機器：勉強のために使う時間】

○ 小6・中3ともに、「30分より少ない」と回答した割合が最も高い。

#### ■学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか。

(小6) 肯定的な回答の割合は、**96.1%** (府 94.9%、全国 94.4%)

(中3) 肯定的な回答の割合は、**96.9%** (府 93.0%、全国 92.6%)

#### ■普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っているか

(小6)

・ 30分以上使っていると回答した割合は、**42.8%** (府 44.4%、全国 43.8%)

(「30分より少ない」と回答した割合が最も高く、**28.5%**)

(中3)

・ 30分以上使っていると回答した割合は、**46.0%** (府 42.2%、全国 40.8%)

(「30分より少ない」と回答した割合が最も高く、**31.5%**)

出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

【ICT機器：家庭での利用率】

○ 小学校・中学校ともに、府・全国よりも家庭で利用できるようにしている割合が高い。

### ■【学校質問紙】

児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか

(小学校) **88.2%**(府 71.9%、全国 66.9%)

毎日持ち帰って、毎日利用させている： **0%** (府 5.9%、全国 14.2%)

毎日持ち帰って、時々利用させている： **0%** (府 7.0%、全国 13.2%)

時々持ち帰って、時々利用させている：**88.2%** (府 59.0%、全国 39.5%)

(中学校) **83.4%**(府 73.0%、全国 61.8%)

毎日持ち帰って、毎日利用させている：**16.7%** (府 11.2%、全国 17.0%)

毎日持ち帰って、時々利用させている： **0%** (府 14.7%、全国 14.6%)

時々持ち帰って、時々利用させている：**66.7%** (府 47.1%、全国 30.2%)

出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

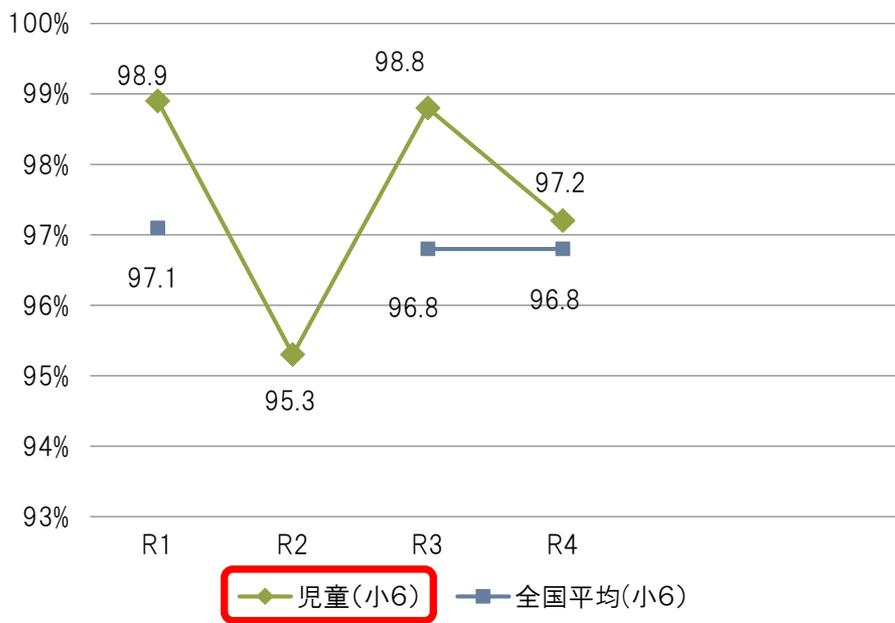


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

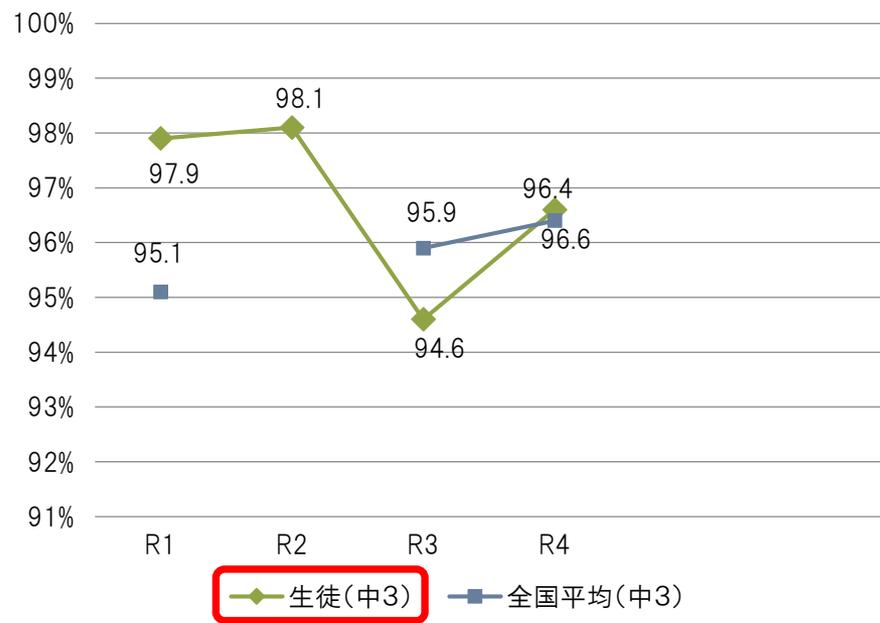
### 【豊かな心の育成と規範意識の醸成】

- 小6では、全国と比べ、いじめはいけないことだという意識が高い。
- 中3では、令和3年度を除き、全国と比べ、いじめはいけないことだという意識が高い。

いじめはいけないことだという意識がある児童の割合



いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より

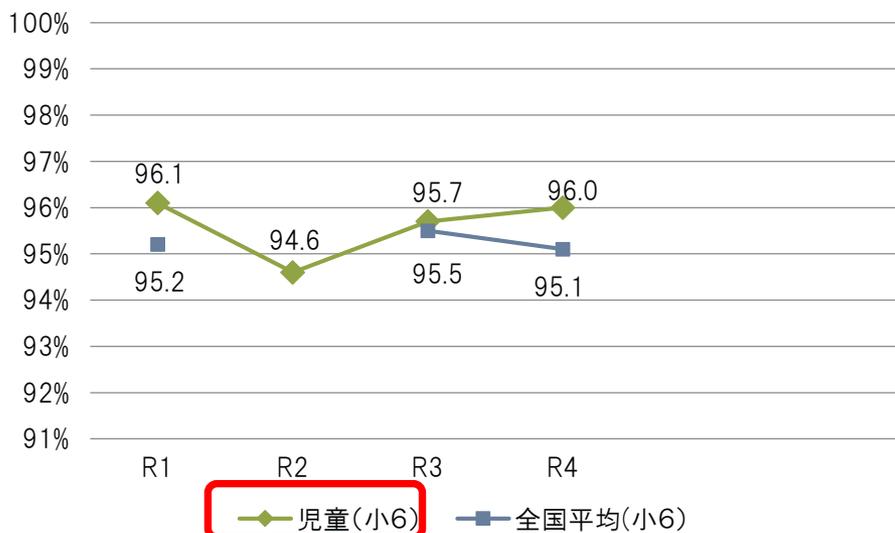


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

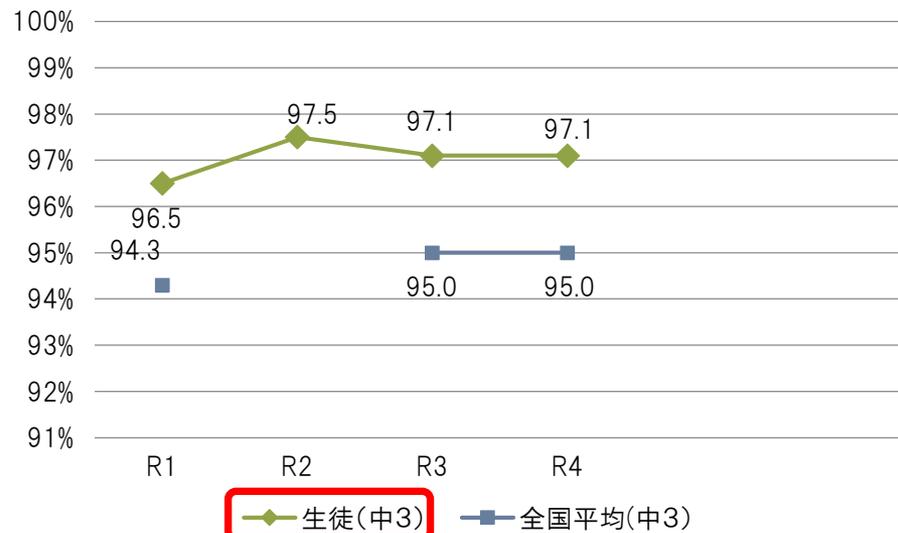
### 【豊かな心の育成と規範意識の醸成】

○ 小6・中3ともに、全国よりも「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合が高い。

人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合



人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合



出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



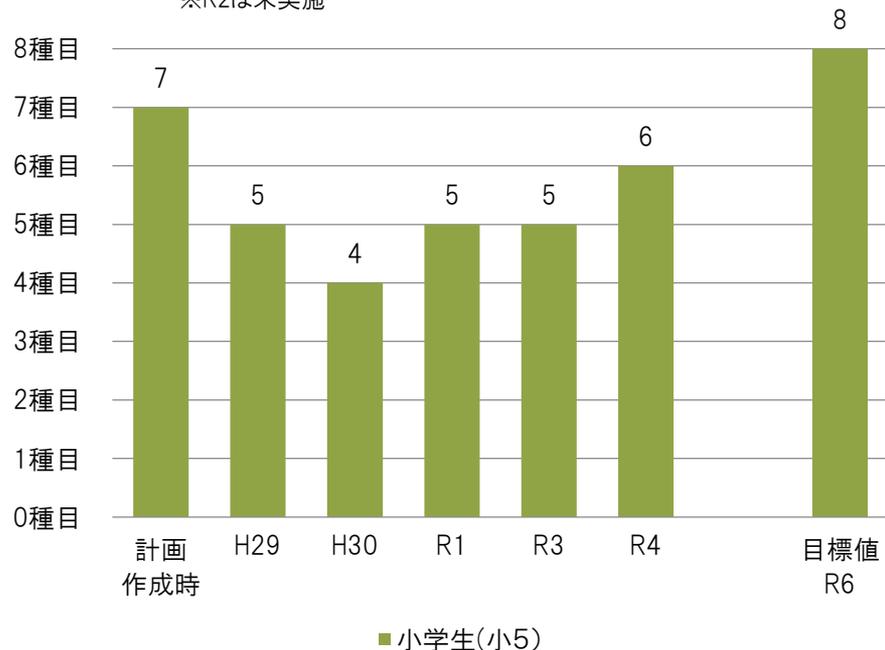
## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

### 【体力】

- 例年8種目中4～6種目が全国平均を上回っている。
- 毎年シャトルラン・反復横跳びなど、持久力や敏捷性が求められる種目が全国平均より高い値であり、握力・長座体前屈など、筋力や柔軟性が求められる種目の値が下回っている。

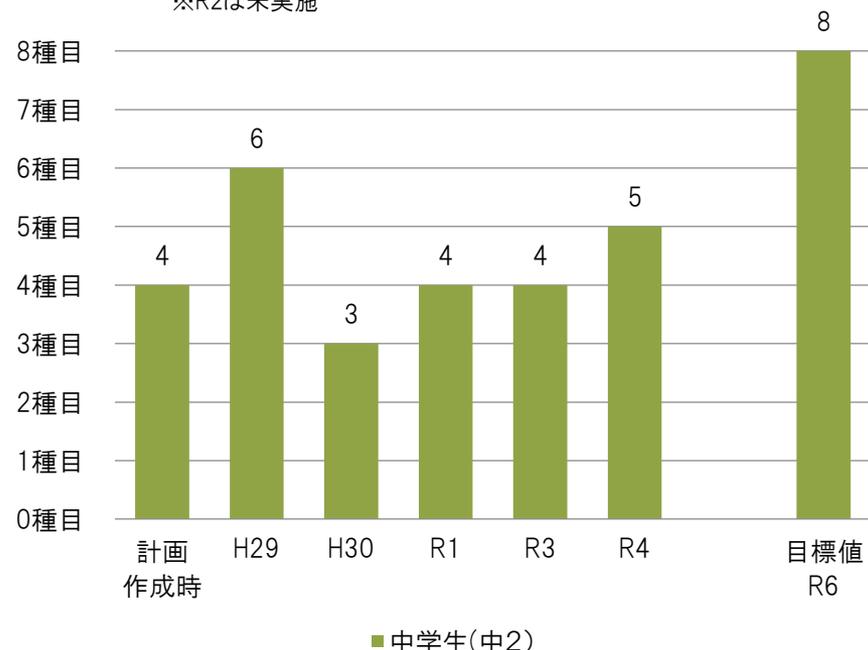
小学生の体力テスト(8種目中)全国平均以上

※R2は未実施



中学生の体力テスト(8種目中)全国平均以上

※R2は未実施



出典：令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

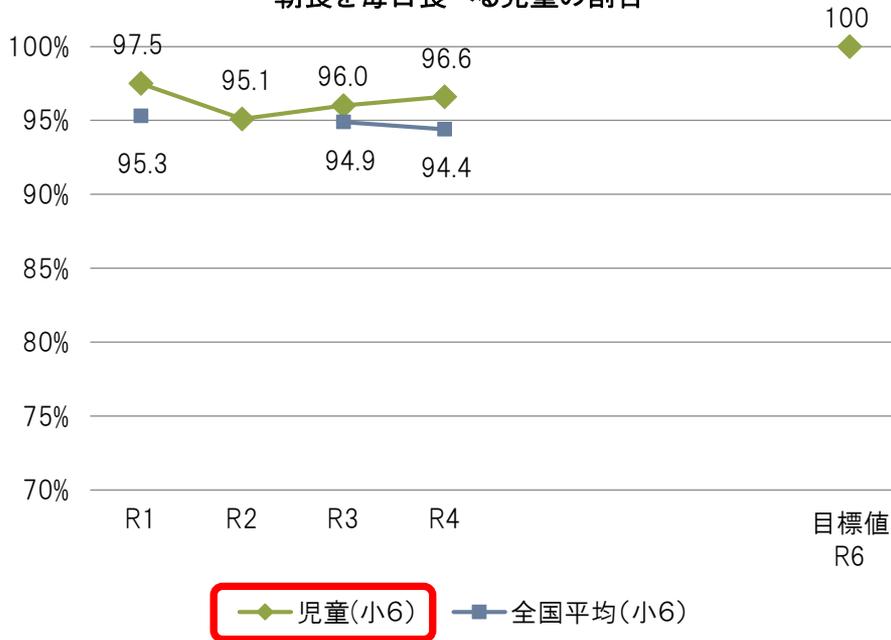


## 2 学校及び子どもの状況 -学力等の状況-

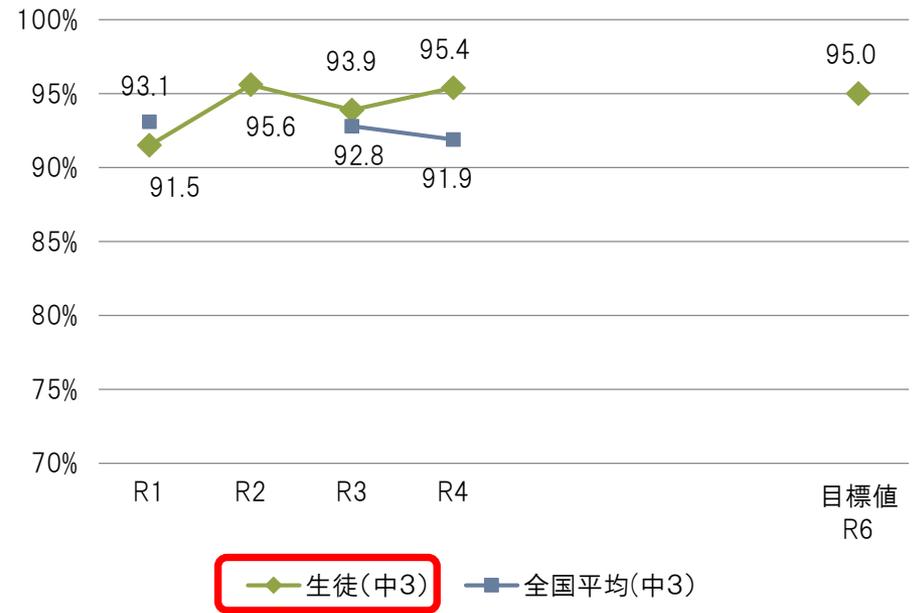
### 【食生活】

- 小6・中3ともに、全国よりも、朝食を毎日食べる児童生徒の割合が高い。
- 中3においては、令和4年度に目標値(R6)を上回っている。

朝食を毎日食べる児童の割合



朝食を毎日食べる生徒の割合

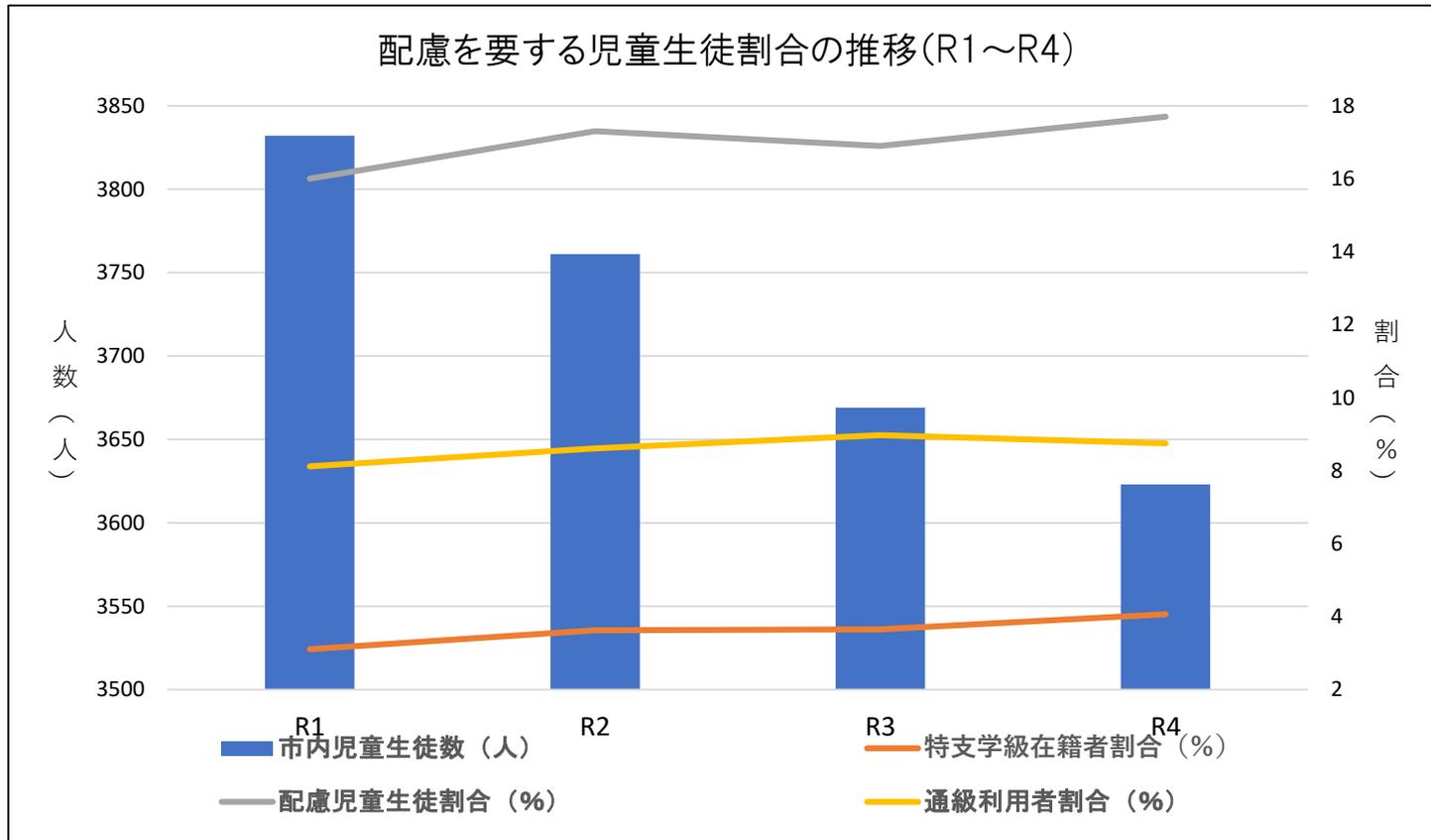


出典：令和4年度全国学力・学習状況調査より



## 2 学校及び子どもの状況 -特別支援児童生徒の状況-

- 4年間の推移を見ると、市内の総児童生徒数の減少に反して、個に応じた指導・支援及び配慮の必要な児童生徒の割合は増加している。（特別支援教育の対象となる児童生徒の割合は、市内全児童生徒の20%強）



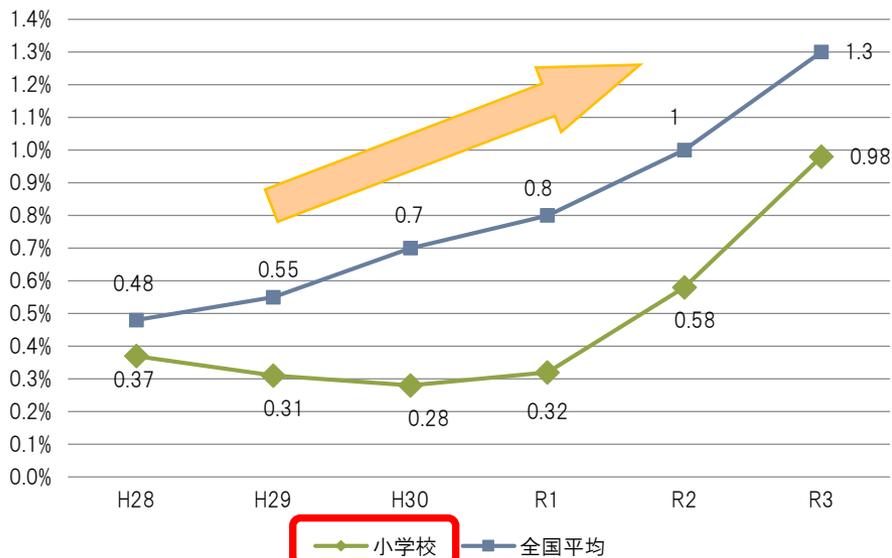
出典：京都府特別支援学級等実態調査



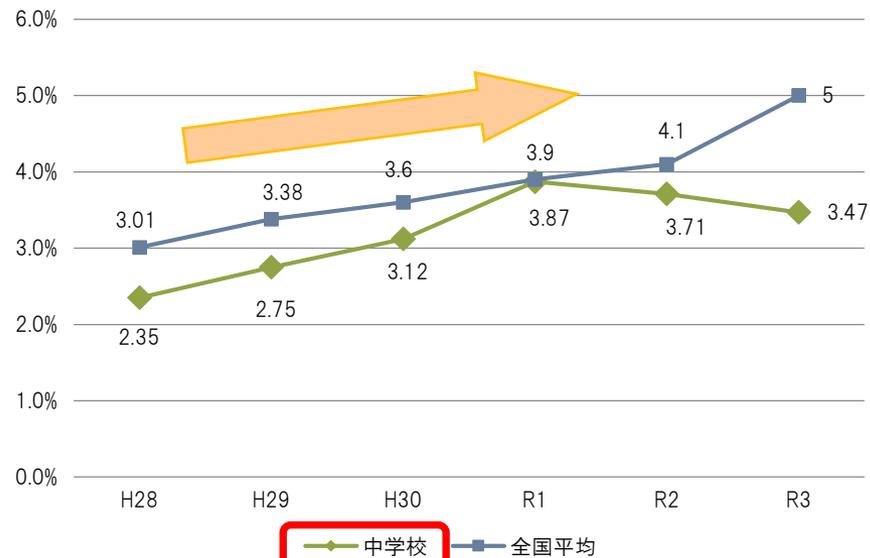
## 2 学校及び子どもの状況 -不登校の状況-

- 不登校児童生徒とは年間30日以上欠席(病気や経済的理由を除く)した児童生徒のことであり、全国的に増加している。
- 本市においても全国と比較すると少し低い値ではあるが、同じ傾向にある。

不登校児童の発生率【小学校】



不登校生徒の発生率【中学校】



出典: 生徒指導に係る月毎の報告(京都府報告)より

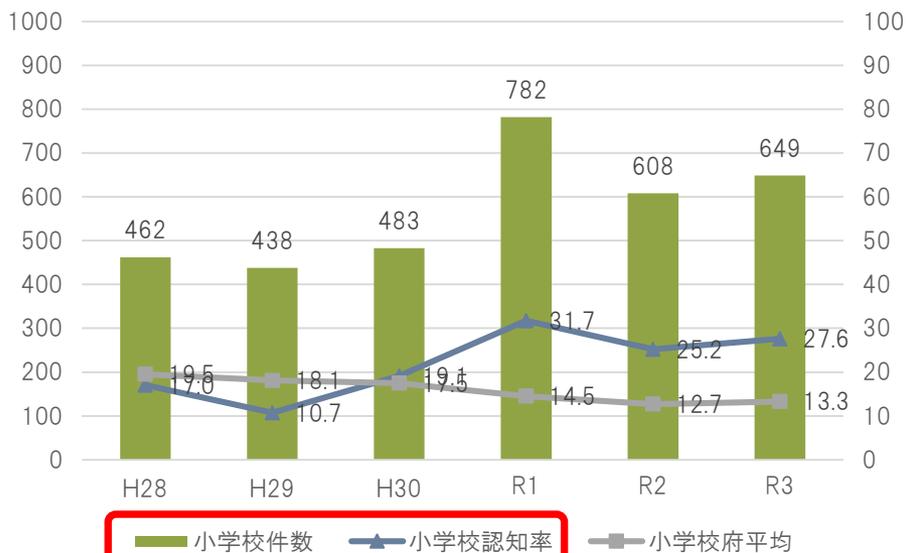
: 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査(国報告)より



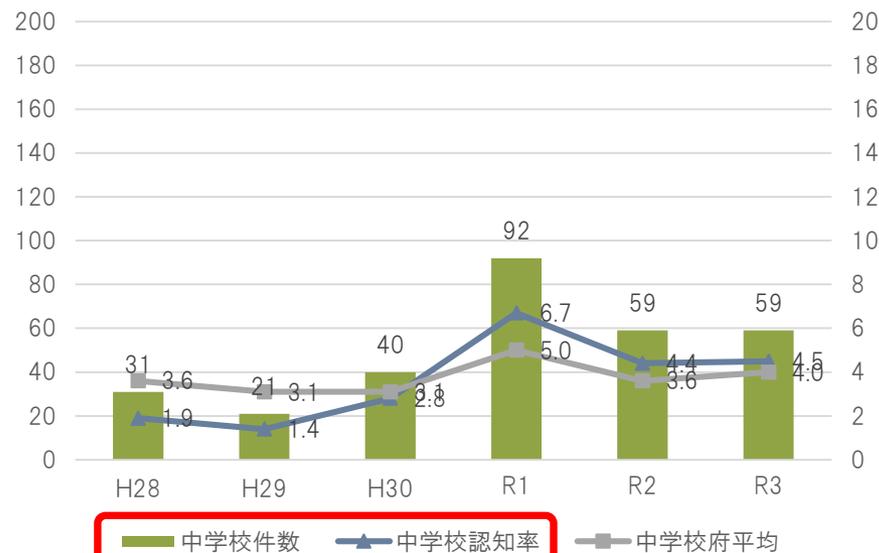
## 2 学校及び子どもの状況 -いじめの状況-

○ いじめの認知に関しては、京都府は全国的に見て高い認知率であり、本市も同じくらいの認知率となっている。

いじめの認知件数/認知率(単位:件/%)【小学校】



いじめの認知件数/認知率(単位:件/%)【中学校】



出典:生徒指導に係る月毎の報告(京都府報告)より

:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査(国報告)より



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

○ 中学卒業者は、例年ほぼ100%近くが高等学校へ進学している。

### 市内中学校卒業者の進路

各年5月1日現在

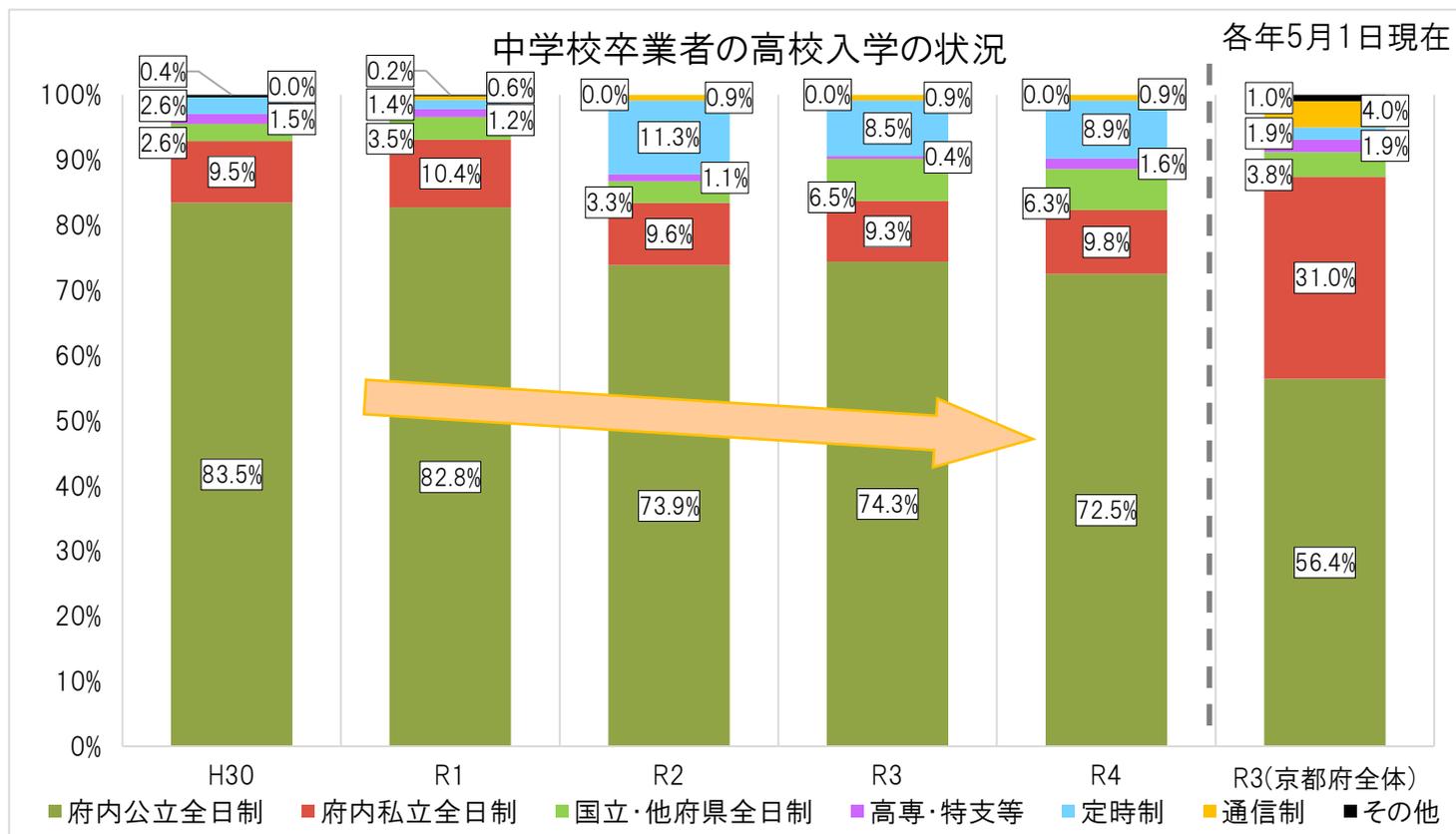
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
高等学校等進学者	545	517	459	454	447
専修学校(高等課程)進学者	1	0	0	0	0
専修学校(一般課程)等進学者	0	3	0	0	0
就職者	2	0	0	1	0
その他(無業者、死亡、不詳)	1	0	1	1	0
総数	549	520	460	456	447

出典:市教育委員会



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

- 高校入学は、府内(公立、私立の合計)が減少傾向にある。
- 「国立・他府県」が京都府全体と比較して多いのは、近大付属豊岡高校が多いことが主要因。
- 京都府全体と比較して、「府内公立」が多く、「府内私立」が少ない。私立の選択肢が少ないためと考えられる。

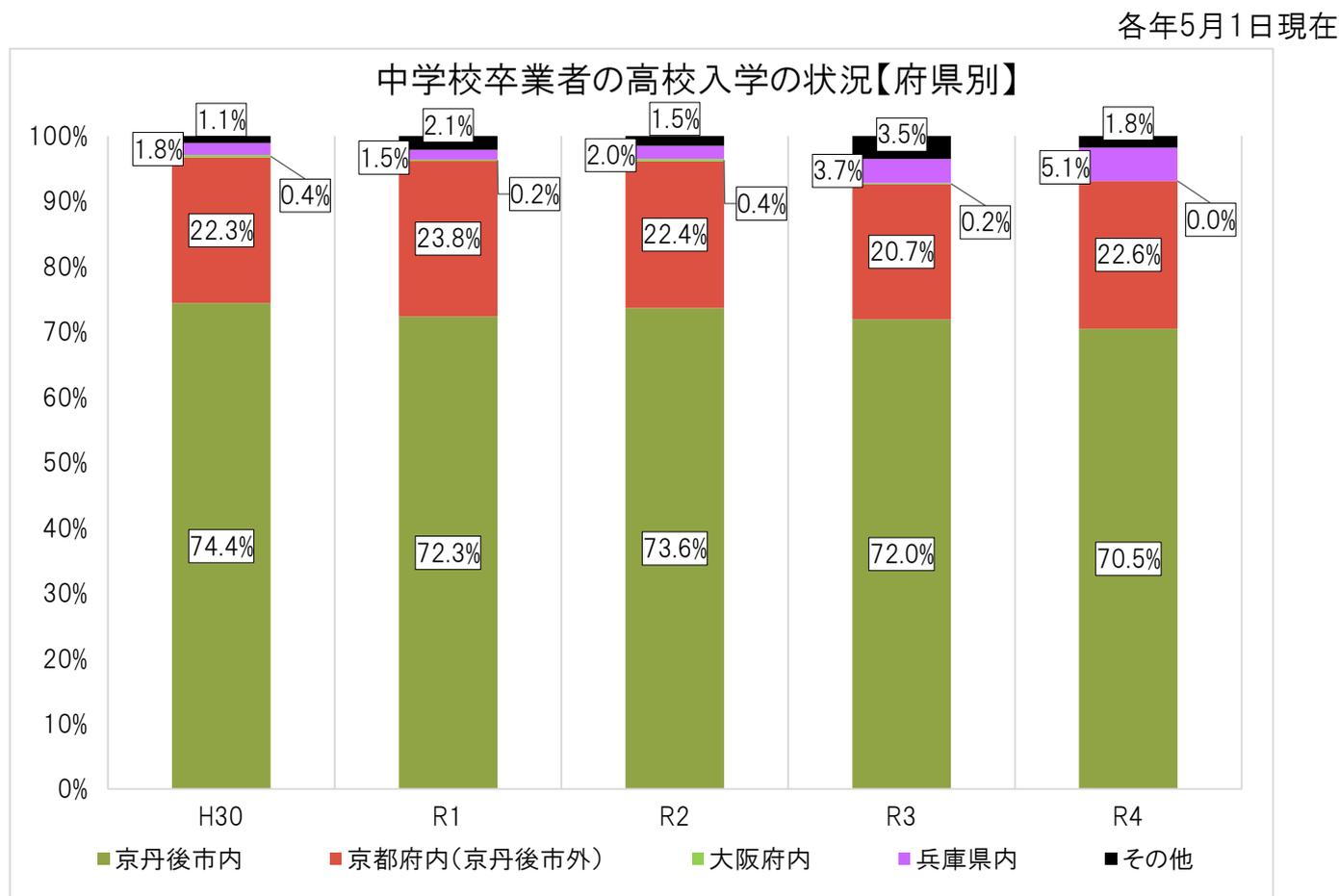


出典：市教育委員会、京都府教育委員会



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

○ 府県別では大きな割合の変化はないが、京都府内が微減、京都府外が微増である。



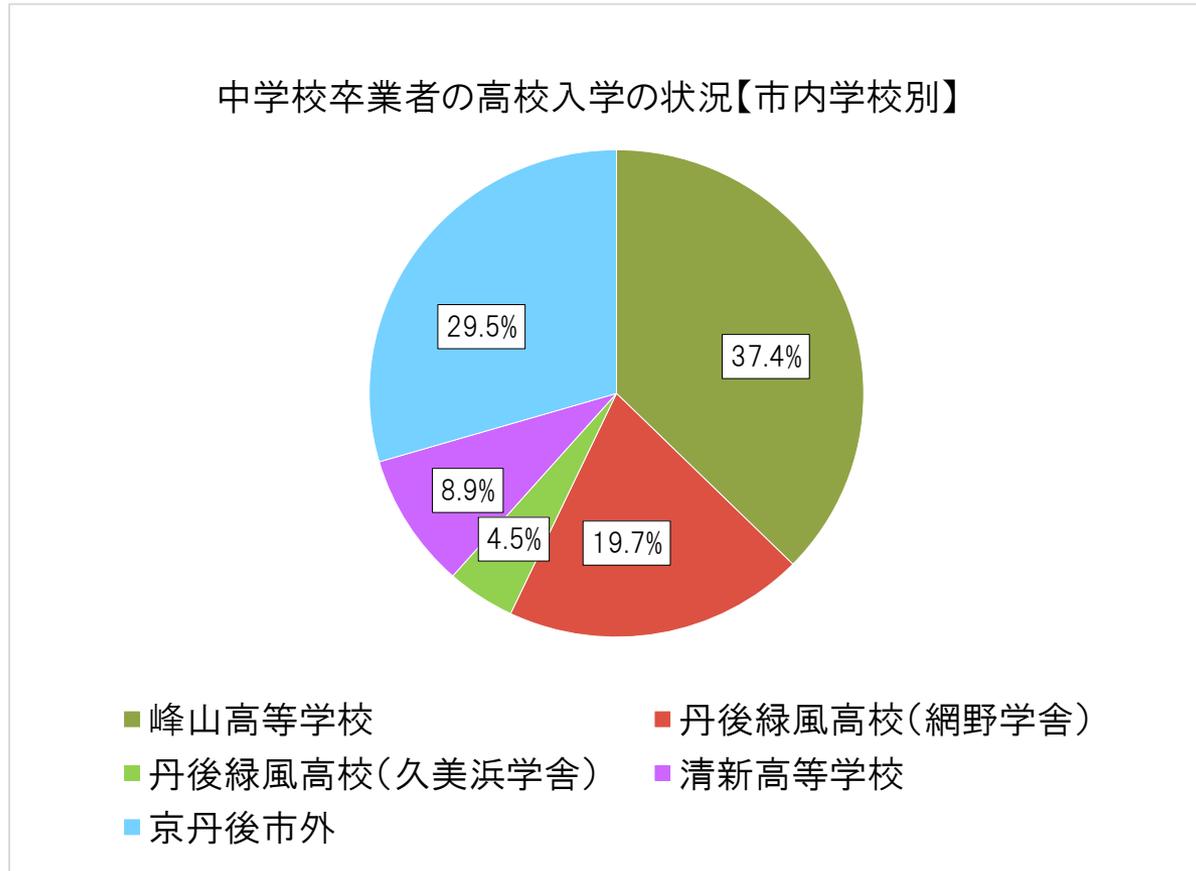
出典：市教育委員会



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

○ 市内学校別では峰山高等学校が最も多く、全体の4割近くを占める。

令和4年4月入学時点



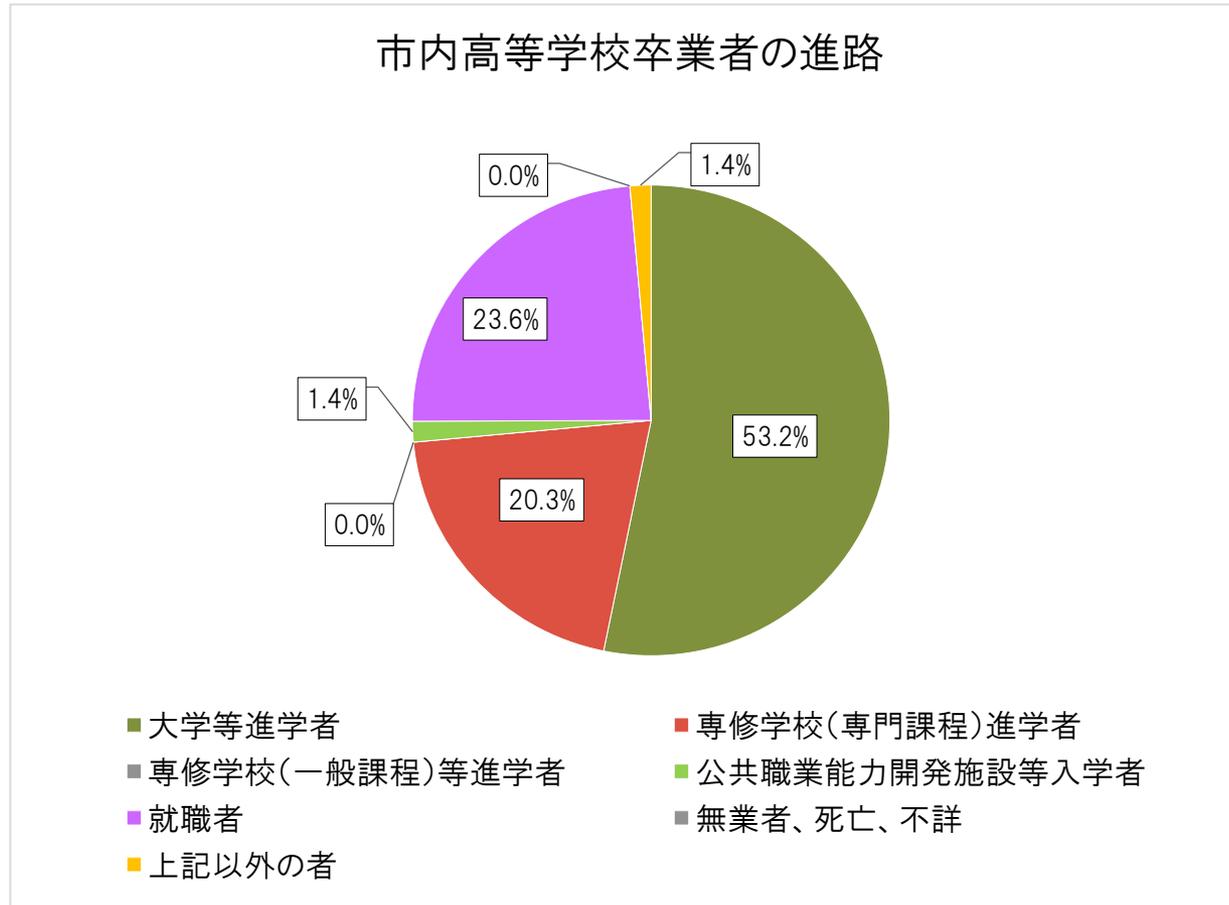
出典：市教育委員会



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

○ 高校卒業後の進路は、大学への進学が5割強、他への進学が2割、就職が2割強という状況。

令和3年5月1日現在



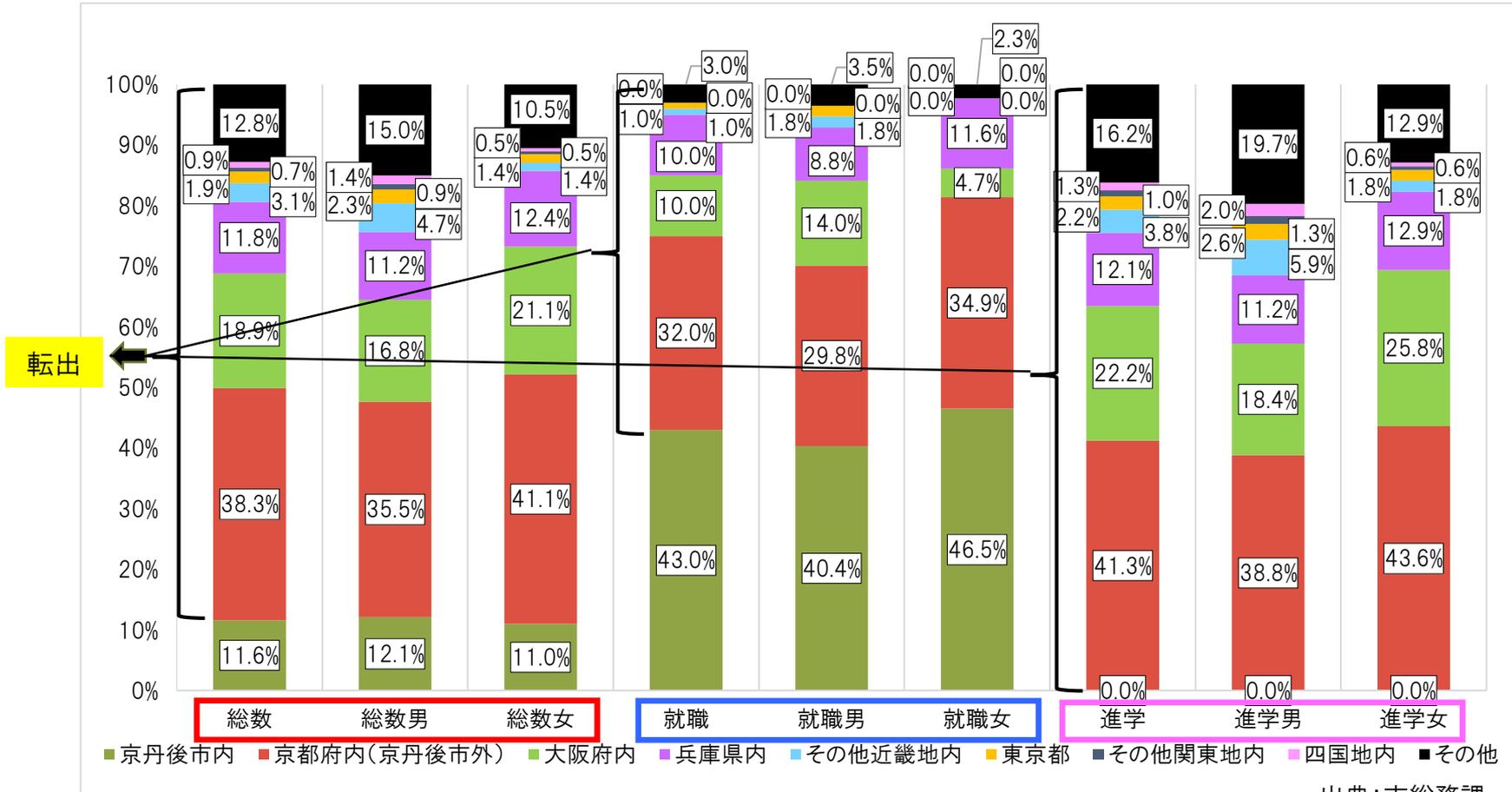
出典:市総務課



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

- 高校卒業後、総数で9割、就職で6割、進学で10割が市外転出。転出先は、府内、大阪府、兵庫県が7割を占める。
- 近畿圏外への転出は男子が多い。(男子が24%、女子が14%)

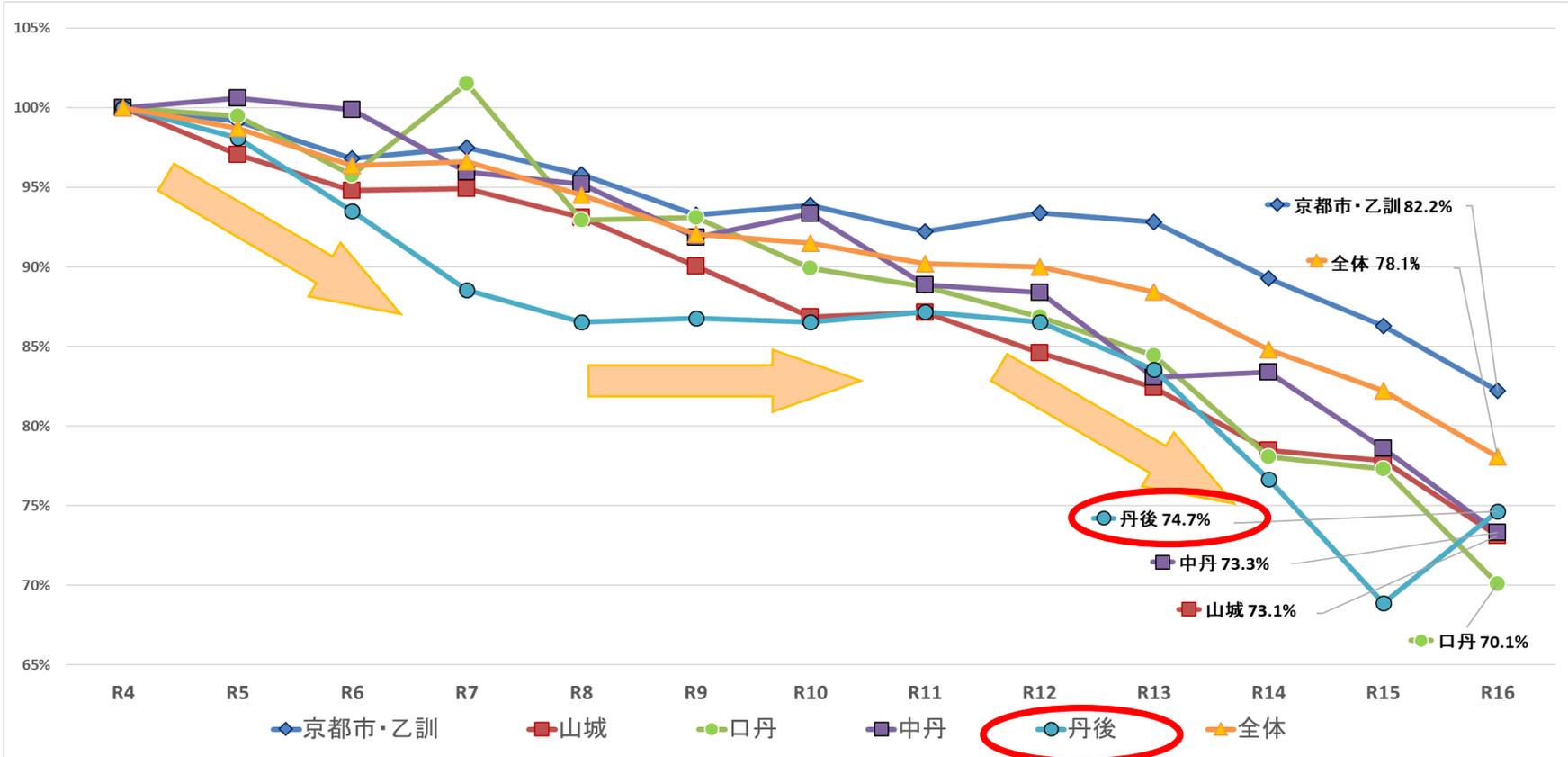
高等学校卒業者の移転先



## 2 学校及び子どもの状況 -進路の状況-

○ 中学3年生は、今後3～4年間減少、その後横ばい、9年後あたりから再度減少の予測。

府立公立中学校3年生の増減率の将来推計(令和4年度基準)



※令和4年度＝令和4年5月1日「学校基本調査」(暫定値)によるデータ

令和4年度時点(暫定値)による推計

※令和5～12年度＝令和4年5月1日「学校基本調査」(暫定値)による推計データ [過去3年間の学年進行率を元に推計]

※令和13～16年度＝各年出生数(暦年)からの推計データ [各年出生数×現小1～6年生の(中3生時推計数/出生数)の平均率]

出典:京都府教育委員会



### 3 教育の現状 -教育を取り巻く情勢-

#### ①社会情勢

人口減少と少子高齢化

グローバル化の進展

Society5.0社会

人生100年時代

SDGsの実現

ダイバーシティ社会の実現

地域社会の教育力低下

家庭環境の変化

ウィズコロナ・ポストコロナ

ゼロカーボンの実現



# 3 教育の現状 -教育を取り巻く情勢-

## ②教育をめぐる情勢

### ■GIGAスクール構想の推進

- ・これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する
- ・ICT機器を主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びを充実する。

### ■「令和の日本型学校教育」の構築

- ・全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。

### ■第4期教育振興基本計画(2023～2027)見直し

#### 【中教審報告素案より】

- ・コンセプト「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」
- ・今後の教育政策の基本的な方針
  - ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
  - ②誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
  - ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
  - ④教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
  - ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

### ■教職員の働き方改革の促進

これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を。

### ■中学校部活動(休日)の段階的地域移行

令和5～7年度の段階的な地域移行に向けた検討を。

### ■こども家庭庁のスタート(2023.4.1)

- ①子どもの目線、子育てをしている人の声を大切にすること
  - ②地方自治体と協力すること
  - ③NPOや地域住民と話しあい、協力すること
- という姿勢を重視し、「子どもまんなかの社会の実現」をキャッチフレーズとする。
- 子どもの最善の利益を実現する観点から、子供や若者の意見を、年齢や発達に応じて積極的かつ適切に子供政策の策定などに反映していくことが求められる。



### 3 教育の現状 -教育を取り巻く情勢-

#### ③本市をめぐる状況

■ 京丹後市教育大綱の策定（中高大までを見据えた教育施策、産業界との連携等）【本資料51P】

■ 保幼小中一貫教育（施設分離型）、丹後学、グローバル人材育成等、  
特色ある教育活動の展開 【本資料52～60P】

■ 学校でのICT機器の積極的な活用、GIGAスクール構想への早期着手 【本資料61P】

■ 学校適正配置基本計画の推進（適正規模での学校教育の推進）【本資料62、63P】

■ 定住促進奨学金支援制度など、産業界とも連携したUターン、Iターン施策の推進 【本資料64P】

■ 文化芸術振興計画、文化財保存活用地域計画策定（学校教育への更なる活用）



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ①教育振興計画と教育大綱

- 平成27年3月、10年間を計画期間として、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として「京丹後市教育振興計画」を策定。令和元年11月に中間見直し。
- 令和3年2月に策定した第2次京丹後市総合計画基本計画との整合を踏まえつつ、まちづくり・ひとづくり全体を通じた市政全体を視野に入れながら、かつ、改定した京丹後市教育振興計画以後に生じた社会の動き、変化等を踏まえて、令和4年7月、「京丹後市教育大綱」を新たに策定。 ※京丹後市教育振興計画、京丹後市教育大綱とも期間は令和6年度末まで

### 京丹後市教育振興計画

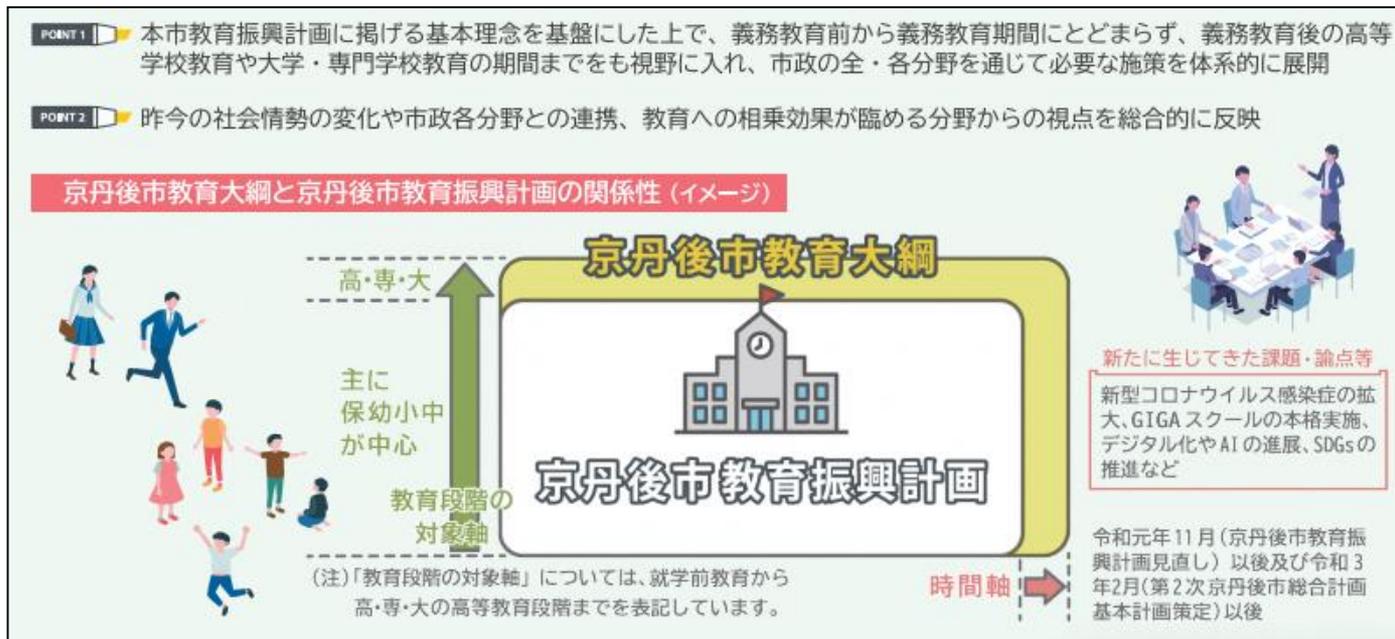
#### ◆京丹後市が目指す教育

- 心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育
- ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創り出す力を育む教育

### 京丹後市教育大綱

#### ◆理念達成に向けた4つの柱

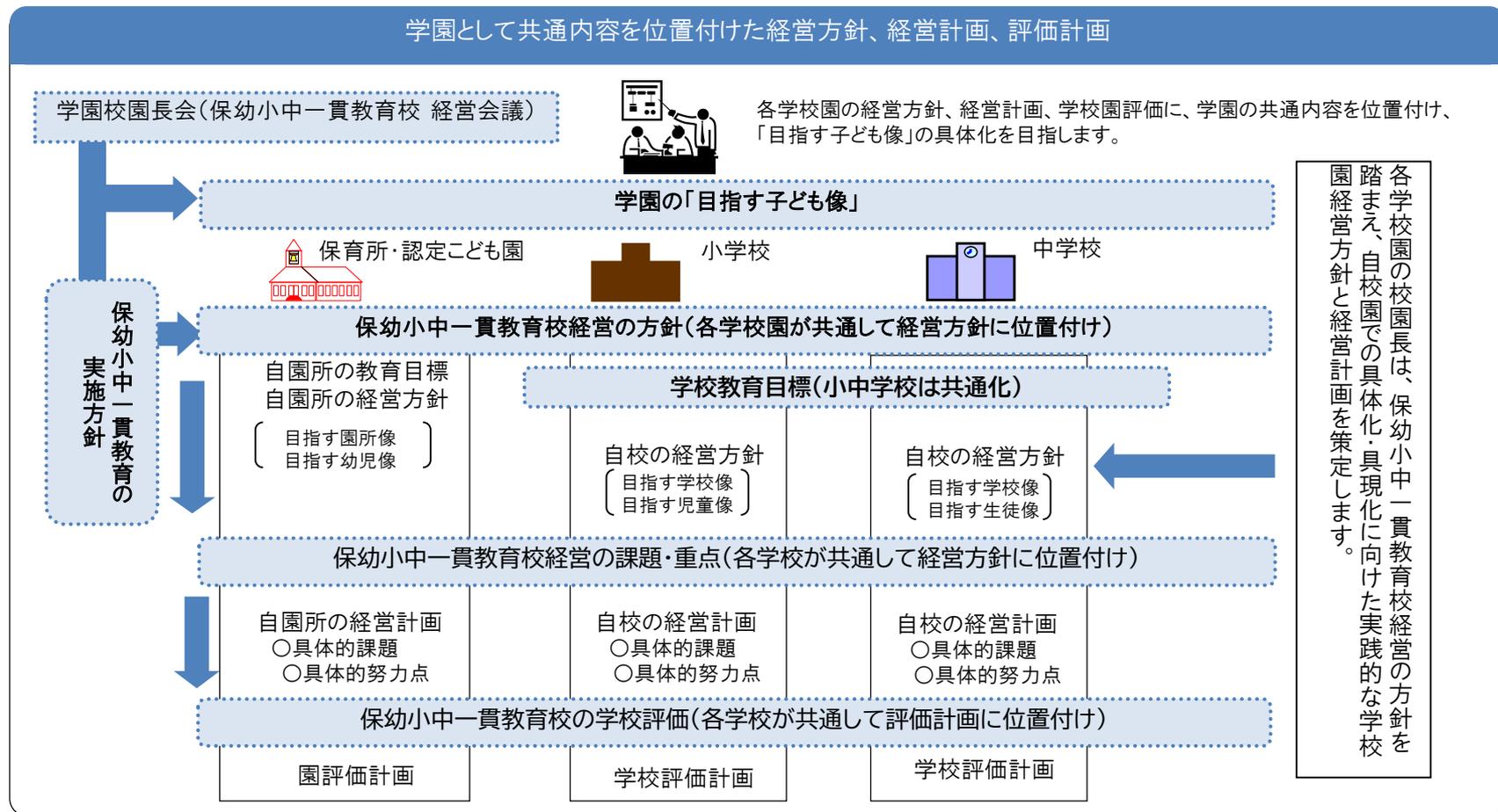
- 【1の柱】**自ら新しい価値を創造し未来を切り拓く、令和の時代の創造的な教育の構築
- 【2の柱】**心豊かに支え合い、生き抜く力を育み、誰ひとり置き去りにされない社会と教育の実現
- 【3の柱】**ふるさとへの愛着・誇りの涵養とこれを基礎とする地域づくり
- 【4の柱】**教育界と産業界のインクルーシブな(包括的・一体的な)教育環境の構築



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ②特徴的な教育施策 (ア)保幼小中一貫教育

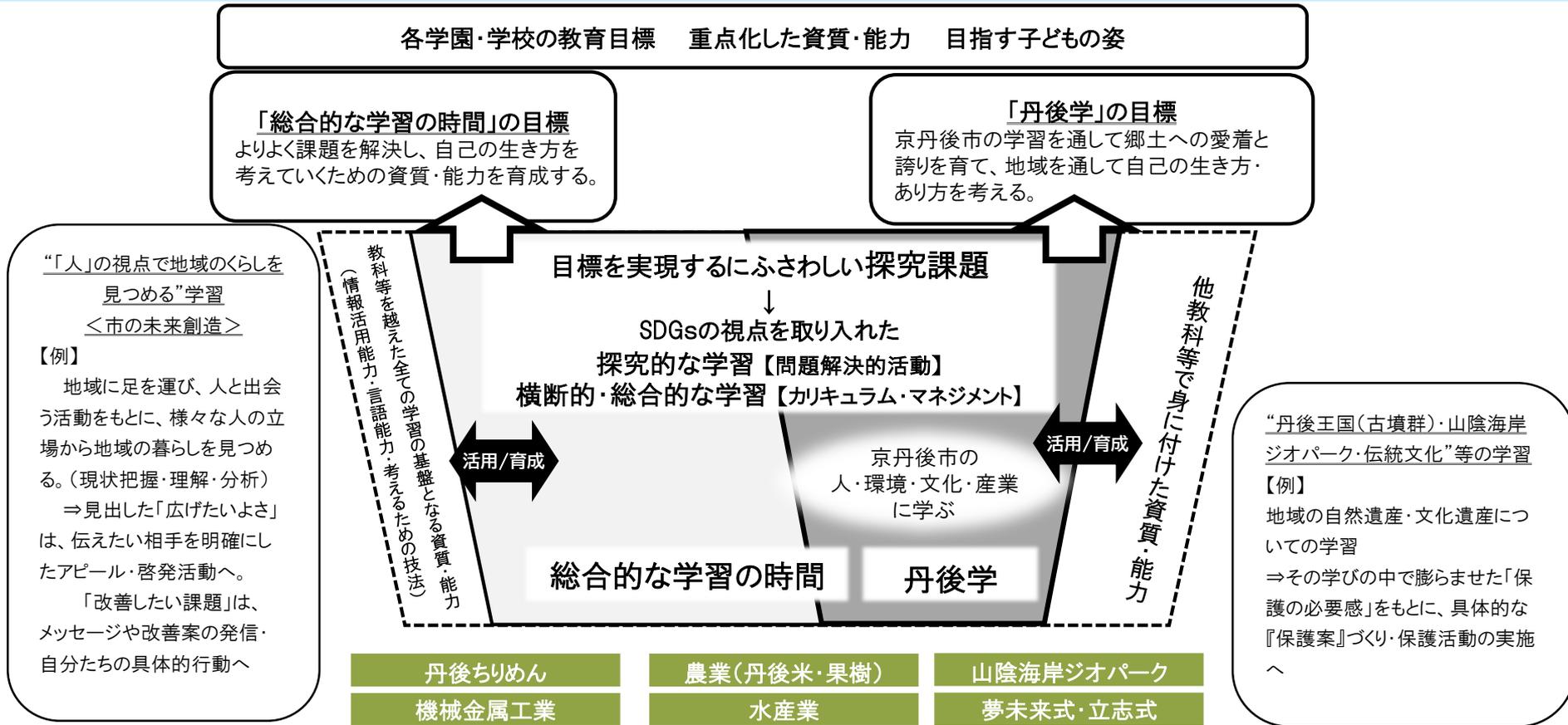
- 義務教育課程修了時を見据えた系統的で一貫性のある教育を進めることが重要であるとの認識のもと、就学前からの10年間にわたる保幼小中一貫教育を平成28年度より市内全中学校区で実施。



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ②特徴的な教育施策 (イ)「丹後学」

- 小中学校の「総合的な学習の時間」の中で行っている地域に関する学習。各校が地域の“人・環境・文化・産業”などから具体的なテーマを設定し、探究的な学びに取り組んでいる。
- 丹後学を学んだ子どもたちが、大学生になり、大学の講座の中で小・中学校時代に学んだ「丹後学」を語る学生も出てきている。



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

今後の「丹後学」のあり方について ~子どもが主役となる「丹後学」、子どもが高まる「丹後学」の実現に向けて~



現行の『モデルカリキュラム』も、作成から約7年。  
 □(社会情勢の面) 多くの変化が急速に進行  
 (学校教育の面) 「資質・能力の育成」を主眼とする『学習指導要領』への改訂

「丹後学」での  
 学びのあり方も  
 アップデートが必要

## 現行「丹後学」モデルカリキュラム

- 【特徴】**  
 ・各期の指導目標や指導事項を明確に設定  
 ・“学び方の習得”や“言語活動の充実”の視点を重視した指導計画案の提示
- 【成果】**  
 ○様々な地域素材(人・環境・文化・産業)との出会い  
 ○各種メディアを活用した情報収集力の向上  
 ○自らの学びや考えを発信する経験の蓄積
- 【課題】**  
 △「知る・触れる」ことが目的化され、内容・活動が中心となった単元構想  
 ※「丹後学」のねらい(郷土への誇りと愛情の育成/自己の生き方・あり方についての思考)に対する意識不足  
 △「探究的な学習の過程」の量的・質的不十分さ

## 社会情勢の変化

- 【例えば】**  
 ・感染症の拡大 ・情報化の進行 ・価値の多様化  
 ・世界規模でのSDGsの取組推進  
 ⇒【本市】R3・5月 国の「SDGs未来都市」選定  
 同・9月 「京丹後市SDGs未来都市計画」策定

## 「学習指導要領」改訂のポイント

- ・“資質・能力の育成”の目的化  
 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善  
 ・教育活動の質を高め、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立

## 令和4年度 一部改訂

(令和5・6年度に活用)

### Point! ①「丹後学」のねらいの焦点化

ねらいを「①地域への愛着と誇りを育てる」と「②自己の生き方・あり方を考える」に絞り、各期の指導目標とともに提示  
 □【効果】「丹後学」に関わる構想・実施・評価の柱が明確に!

### Point! ②「探究の過程」を学習活動の中心に

ねらいの達成にふさわしい課題設定とその追究・解決を目的とした探究的な学習を実施  
 □【効果】地域の良さや課題が子どもたちの“自分事”に!

### Point! ③「保幼小中一貫」の視点の導入

「丹後学」の学びと、幼児期の「遊び」を通じた総合的な学びや小1・2年生の「生活科」の学びとのつながりを再確認  
 □【効果】子どもが“学びの主体者”となる「丹後学」に!

### Point! ④「SDGs」の視点の導入

地域素材というローカルなテーマに「SDGs」というグローバルな視点を重ねることで学びの質的向上を促進  
 □【効果】「丹後学」がより課題解決的・グローバルな学びに!  
 ※「グローバル」=地域性を考慮しながら地球規模で考え、地域で行動すること

## 令和5・6年度 全面改訂

(令和7年度~活用)

### Point! ⑤「デザイン思考」・「STEAM教育」の導入

R4年度改訂時のポイント①~④を引き継ぎつつ…  
 「丹後学」における課題解決・探究の過程に、「Kyotango Sea Labo」のMindSetや手法を活用  
 □【効果】“人”を真ん中に置いたクリエイティブな課題解決・目的達成型の学びを積み上げることで、子どもたちの自発性・創造性・判断力・問題解決力などを育てる「丹後学」に!



### 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

#### ②特徴的な教育施策 (ウ)コミュニティスクール(学校運営協議会)

- 学校(保育所、認定こども園含む。)、保護者、地域住民等が相互に密接に連携し、一体となって学校運営の改善及び地域の特色を生かした学校づくりを進め、子ども達の健全育成に取り組むため、令和2年4月に「京丹後市学校運営協議会規則」を制定し、各中学校区(6つの学園)に、保育所・子ども園・小中学校合同の学校運営協議会を設置。

#### ■組織構成(R4)

各学園運営協議会	構成員数	区分内訳				委嘱期間
		(1)	(2)	(3)	(4)	
峰山学園学校運営協議会	21	3	15	2	1	自 令和4年4月1日 至 令和6年3月31日
大宮学園学校運営協議会	22	5	14	2	1	
網野学園学校運営協議会	21	3	16	1	1	
丹後学園学校運営協議会	22	6	10	5	1	
弥栄学園学校運営協議会	16	3	11	1	1	
久美浜学園学校運営協議会	22	2	18	1	1	
計	124	22	84	12	6	

#### <構成員区分>

- (1) 学校の保護者
- (2) 学校の校区内の地域住民
- (3) 校長及び教職員  
(保育士及び保育教諭を含む)
- (4) その他教育委員会が適当と認める者

- 学校運営協議会・・・保護者や地域の方々に学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となって子ども達を育てていくための組織
- コミュニティスクール・・・学校運営協議会が設置されている学校



### 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

#### ②特徴的な教育施策 (エ)グローバルリーダー育成事業



##### ○ 背景・趣旨

令和3年、京丹後市が国の「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、「京丹後市SDGs未来都市計画」を策定し、より一層グローバル社会の一員として協力していくこととなった。

教育を通じて、一人ひとりの子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、すべての年代において持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力をはぐくむこととする。

特に、学校教育では、児童生徒が主体的に課題を発見し、多様な人と協働しながら問題解決的な学習や教科横断的な学習(STEAM教育につながる学習を含む。)の充実を図り、ものごとに柔軟に対処する力や新しい価値を創造する力を育成します。さらに、グローバルな視点をもって国内外問わずどこでも活躍するための基盤として外国語教育を充実させ、英語運用能力を高め、世界に目を向けながら、地域や社会の発展に貢献できる子どもの育成を目指す。

##### ○ 育てたい3つの資質・能力

###### Design ～未来をつくり出す力～

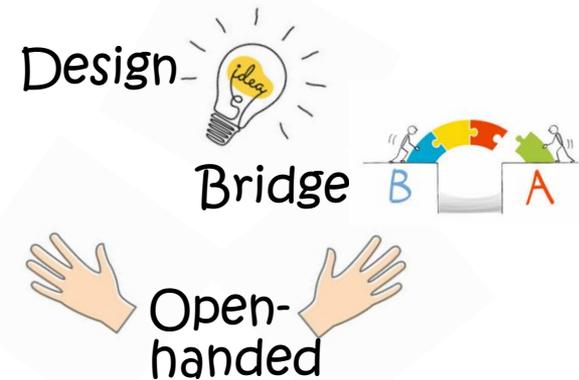
- ◆ 様々なことに興味をもち、新しいことに挑戦することができる
- ◆ 長い時間軸でものごとを考え、新しい未来(価値)をつくり出すことができる

###### Bridge ～世界の人とつながるコミュニケーションの力～

- ◆ 相手の立場を尊重しつつ、自分の思いや考えを自信をもって伝え合うことができる
- ◆ 相手の考えを肯定的に受け入れ、考えや視点を広げることができる

###### Open - handed ～お互いを認め合う心～

- ◆ 自分のよさや可能性を認識し、個性の違いや多様性を認めることができる
- ◆ 郷土への誇りと愛情をもつとともに、他国の歴史と文化を尊重することができる



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-



## グローバル人材を育てるために ~The Development of Global Leaders in Kyotango~

国際感覚をもち 将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため 年代・世代に応じ 多様な価値に触れる機会等を創出します



令和5年1月  
京丹後市教育委員会

育てたい  
3つの資質・能力

未来をつくり出す力の育成



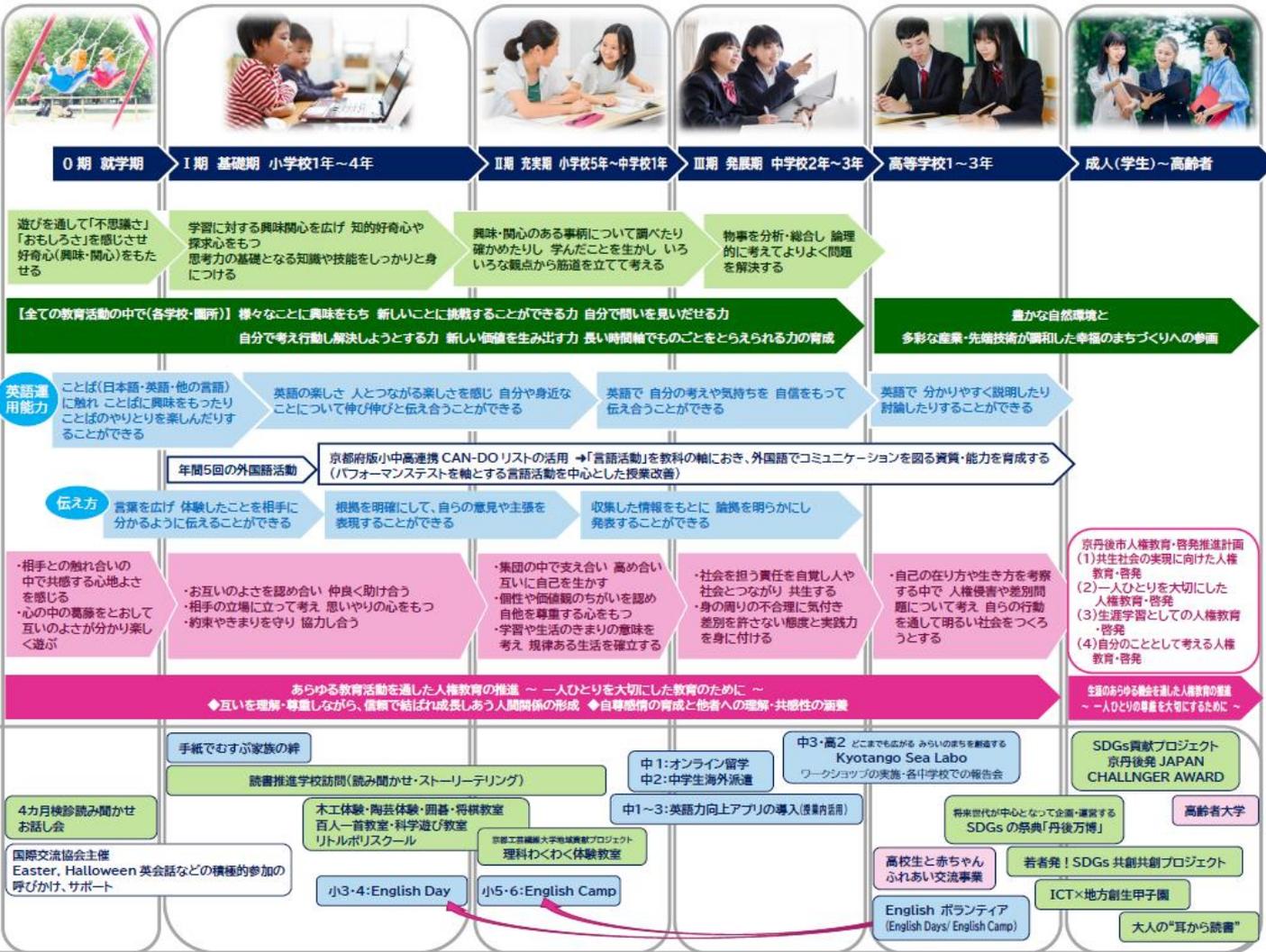
世界の人とつながる  
コミュニケーション力の育成



お互いを認め合う心の醸成



年代・世代  
知る考える創り出す力  
「こぼれぬ心」をつなげる力  
認める感じる開く心



京丹後市人権教育・啓発推進計画  
(1) 共生社会の実現に向けた人権教育・啓発  
(2) 一人ひとりを大切にされた人権教育・啓発  
(3) 生涯学習としての人権教育・啓発  
(4) 自分ごととして考える人権教育・啓発

生涯のあらゆる機会を通じた人権教育の推進 ~ 一人ひとりの尊厳を大切にするために ~

心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育  
ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ○ グローバルリーダー育成事業 主な取組

### Kyotango English Day(小学3・4年生対象)

小学校中学年外国語活動の学びを基盤に、AETを中心としたネイティブスピーカーと触れ合う中で、英語でコミュニケーションをとる楽しさを感じさせ、英語学習への興味関心を高める。

【特に高めたい資質・能力】  
世界の人とつながるコミュニケーションの力

### オンライン留学(中学1年生対象)

海外の生徒とのオンライン交流を通して、京丹後市の魅力を再発見し、外国の文化や生活を知り、視野を広げる。自身の英語力の伸びを感じ、学習意欲を向上させる。

【特に高めたい資質・能力】  
世界の人とつながるコミュニケーションの力・お互いを認め合う力

どこまでも広がる 미래のまちをそうぞうする

### Kyotango Sea Labo (中学3年生・高校2年生対象)

「丹後学×デザイン思考×STEAM教育」の教育プログラムのもとに、京丹後市の素材を生かし、人間中心の発想プロセスを通して、未来のまちをデザインする次世代型リーダーの育成を目指す。

参加生徒による報告会を各校で行い、学びを波及する。

【特に高めたい資質・能力】未来をつくり出す力  
世界の人とつながるコミュニケーションの力・お互いを認め合う力

### English Days English Campのボランティア(高校生対象)

本事業に参加する児童のサポートをする。各事業の運営に参画する中で、自身の英語力の自信を高め、国際感覚の醸成を図る。

【特に高めたい資質・能力】未来をつくり出す力  
世界の人とつながるコミュニケーションの力・お互いを認め合う力

### Kyotango English Camp(小学5・6年生対象)

AET及び海外からの留学生等との合宿を通して、英語漬けの1泊2日を体験する。児童の積極的な発話を生む活動を行い、英語でつながる喜びを体感する。

【特に高めたい資質・能力】  
世界の人とつながるコミュニケーションの力・お互いを認め合う力

### 中学生海外派遣事業(中学2年生対象)

海外でのホームステイや現地の学校との交流を通して、外国の生活や文化を直接体験する。10日間プログラムにより、英語でのコミュニケーションに自信をつける。

【特に高めたい資質・能力】  
世界の人とつながるコミュニケーションの力・お互いを認め合う力

### 英語力向上アプリ(教育課程内:中学1~3年生対象予定)

市内中学生全員に配布し、言語活動を中心とした授業を通して、「自分の思いや考えを英語で自信をもって発信できる生徒の育成」を目標に、学校教育課程内で活用する。

【特に高めたい資質・能力】  
世界の人とつながるコミュニケーションの力



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

- 英語力向上アプリ「ELSA Speak」をすべての中学2年生に導入。
- 「ELSA Speak」をすべての中学校、全学年(1年・3年に拡充予定)に導入し、継続した発音学習等の機会を提供。

- 1. 背景** ・R4年度より市内中学2年生を対象に導入した英語力向上アプリ「ELSA Speak」は、導入から約半年で生徒の英語に対する意欲の向上や意識変化がみられる。  
・本アプリを中学3年間を継続して使用することで、英語力の向上等、一層の効果が期待できる。
- 2. 目的** ・市内中学2年生を対象としていた本アプリ導入に**中学1年生・3年生を追加**することで、学校や家庭において、継続した発音や会話学習の機会を提供し、英語で自分の思いや考えを自信をもって伝え合うことができる生徒の育成を目指す。

## 3. 事業内容

- AIによる英語力向上アプリ「ELSA Speak」の導入  
対象：**市内全中学1～3年生全員**  
内容：
  - ・英単語や英文の発音矯正
  - ・専門員による対面またはオンラインでの指導助言の実施（各学期1回）
  - ・英検（実用英語技能検定）準2級・3級・4級に対応した教材の追加（追加）

## 4. 想定される効果

- 生徒の「英語力」を確実に伸ばす。
  - ・発音を向上させ、英語を話す自信をつける。
  - ・英語科担当者が、学習状況を把握し、生徒の課題克服に働きかける。
- 「確かな力」と「自信」を身につけ、進路、将来につなげる。
- 「ICT×英語教育」で、都市部に負けない教育の充実を図り、グローバルリーダーを育成する。



## 5. これまでの取り組み状況

- R4.4 市内全中学2年生にアカウント配布、各校にて使用開始

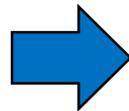
### 従来の英語の授業 教員の悩みと子どもたちの思い

【教員】一斉指導では限界がある！

- ・発音や音読指導は行いが、個別の指導にまでは至らず。
- ・生徒一人ひとりの発音の伸びや変容を確認することは難しい。
- ・リスニングの指導の機会はあるが、一斉に同じ回数聞かせる。

【生徒】自分の伸びが分からないから自信がもてない！

- ・十分に教えてもらっていないのに、テストはある。
- ・発音や音読練習をがんばっても、何をどのように改善すべきか分からない。



導入から半年後

### 導入後にみられた変化（教員の声、生徒の感想から）

【教員の声から】

- ・「聞く」「話す」をアプリを使って**繰り返し練習することで、英文の文構造に慣れ**、英文が書けなかった生徒が**書けるようになった**。（定期テストでも、成果が見られた。）
- ・**英語の学習に課題のある生徒**も、ゲーム感覚で取り組めることから、**意欲的**になった。

【生徒の感想から】

- ・集中的に家庭学習することでだんだん単語や英文が読めるようになり**自信がついた**。
- ・**自分の苦手なところが分かって**、より良い発音ができるように意識して練習できた。
- ・**LやSHの発音**がうまくできていなかったけど、**ELSAでコツがつかめた**。
- ・パフォーマンステストで満点が取れたり、**自分でも以前より上手に発音できるようになっていると実感**している。
- ・**苦手だった英語が好き**になり、ELSAで身につけたことや英語で勉強したことを活かして、**ALTとたくさん話してみたい**。



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

- どこまでも広がる 미래のまちを創造する「Kyotango Sea Labo」
- 丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させた6日間のプログラム(ワークショップ)を実施

**1. 背景** 「全国学力・学習状況調査」(R3年)において、「自分にはよいところがある」、「将来の夢がある」の項目で、肯定的回答が全国を下回る。  
 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表わされている」、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の項目で、肯定的回答が全国や府を下回る。  
 京丹後市には高等教育機関(大学等)が存在せず、教育における地理的ハンディキャップを超えた質の高い教育機会が求められる。

## 2. 事業内容等

**① 目的** 本市の産業集積の特色等を生かしつつ、SDG sにも通じるSTEAM教育を通して、「**国際感覚を持ち、グローバル社会で活躍できるイノベティブなリーダー人材を育てる**」ことを目指します。

**② 参加対象** 市内中学校に通う**中学3年生**  
 市内在住の**高校2年生**

※R4年度は35人(中3:28人、高2:7人)が参加

### ③プログラムの流れ Day1~Day6の6日間プログラム

京丹後はこんなに面白い  
 地元の企業と交流しよう



- <R4年度参画地元企業等>
- ・木下酒造(有) (日本酒蔵元)
  - ・(株)Sazae Japan (ITコンサルティング)
  - ・(株)U設計室 (建築設計)
  - ・社会福祉法人みなやま福祉会 (児童・高齢者・障害福祉)
  - ・田勇企業(株) (織物)
  - ・丹後織物工業組合 (織物)
  - ・日本玄承社 (刀鍛冶)
  - ・ヒロセ工業(株) (精密部品加工・金型)
  - ・描く人 (デザイナー兼アーティスト)

地域課題の解決の仕方  
 海外大学からデザイン思考を学ぼう



- <連携推進体制>
- ・トロント大学 (カナダ)
  - ・スタンフォード大学 (アメリカ)
  - ・一般社団法人スカイラボ
- <支援体制>
- R4年度は9名のバイリンガル大学生がサポート

わたしたちが作る京丹後  
 未来の姿をデザインしよう



京丹後市でこんなこともやってるの？  
 こうすればもっと面白いまちになるかも！  
 「京丹後の潜在力や可能性」を地元企業の関係者から学びます。

そういう発想があったなんて……  
 となると、この問題の解決方法はこうだ！  
 探求型カリキュラムを通して、ものづくり課題解決のための人間中心の「新しい発想方法」を学びます。

まちをこう創ればきっと楽しい！  
 自分がデザインしたまちに変えていく！  
 一緒に「未来の京丹後をデザイン」し、英語でプレゼンテーションをします。

④ 得られる  
 スキル・経験

**進路選択に役立ちます！**  
 企業の方との交流を通し、将来のキャリアや進路を考える機会となります。

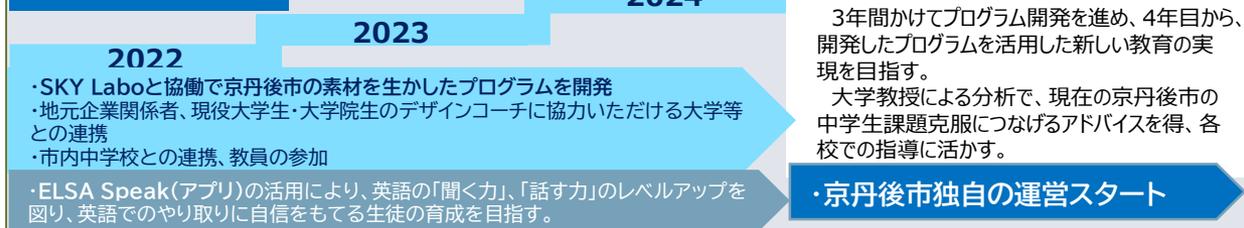
**新しい時代に適したデザイン・提案力が身に付きます！**  
 アメリカシリコンバレーで注目の最新のデザインメソッド「デザイン思考」を学べます。

**実践的な英語力UP！**  
 英語でプレゼンテーションする力が身に付きます。

### ⑤ 期待する効果

- ✓ STEAM領域への関心・イメージの向上
- ✓ クリエイティブコンフィデンス(自らの創造性に対する自信)向上
- ✓ エンパシー(共感力)向上
- ✓ キャリアに対する意識変革

### ⑥ 実施スケジュール



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ②特徴的な教育施策 (オ)GIGAスクールの整備状況、活用状況

- 国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度、児童生徒・教職員への1人1台タブレット、高速校内LAN・電子黒板などのICT環境を全小中学校で整備。
- 令和2年度Microsoft TEAMSを活用したオンライン授業を開始、令和3年度タブレットの持ち帰り学習を試行的に開始し、令和4年度からは全小中学校で実施している。
- インターネット環境がない家庭への普及促進、低所得世帯への金銭的支援・Wi-Fiルータ貸出しなどを行い、ICTを活用した家庭学習に取り組んでいる。

### ■GIGAスクール整備状況

ハード	・高速校内LAN(無線)整備 ・児童生徒教職員1人1台のタブレット端末(iPad)整備 ・全普通教室・特別支援教室へ電子黒板整備 ・オンライン授業用Wi-Fiルータ整備	全23校 4,252台 全23校 300台
ソフト	・授業支援システム「ロイノート」を導入 ・AIドリルシステム「ミライシード」を導入 ・英語力向上アプリ「ELSA Speak」を導入	全23校 全23校 全中学2年生



高速校内LAN整備



1人1台タブレット整備



電子黒板整備



### ■GIGAスクール活用状況

児童生徒 教職員	・日々の授業や校内・校外活動でタブレット端末を活用 ・コロナ学級閉鎖などでオンライン授業や授業配信の実施 ・各種会議・研修会などのオンライン化・ペーパーレス化 ・タブレット持ち帰り学習を実施 (インターネット環境がない低所得世帯にはWi-Fiルータ貸出)	全23校 全23校 全23校 全23校
-------------	---	------------------------------



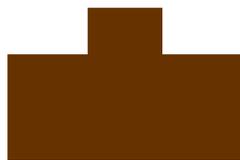
# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ②特徴的な教育施策 (カ)学校適正配置

- 京丹後市学校再配置基本計画【平成22年12月策定】  
複式学級の早期解消が基本方針。京丹後市が誕生した平成16年4月に31校あった小学校が17校、9校あった中学校が6校に。
- 京丹後市学校適正配置基本計画【令和4年2月策定】  
「学校再配置基本計画」の基本方針を引き継ぎ、令和3年度から概ね10年間を計画期間とする。  
義務教育課程修了時における「生きる力」を育てるため、また、町域内での保幼小中一貫教育の実現を展望し、複式学級の出現を未然に防止するとともに、児童生徒数の推移と地理的な条件や財政的な影響も参酌しつつ、原則、前期計画期間内に10人を下回る学級の出現が複数予想される小学校を、適正配置の検討の対象校とする。

### ■京丹後市合併以降の小中学校数の推移

※令和5年度まで小学校17校、中学校6校を維持。その後、**京丹後市学校適正配置基本計画**では、前期計画期間内(令和7年度まで)に複式学級の発生が予測される2つの小学校を適正配置するとしている。



年月	京丹後市		
	小学校	中学校	計
H16.4	31	9	40
H17.4			
H18.4			
H19.4			
H20.4			
H21.4	30	9	39
H22.4			
H23.4			
H24.4			
H25.4			
H26.4			
H27.4			
H28.4			
H29.4			
H30.4			
H31.4	17	6	23



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

■学校再配置基本計画(平成22年12月策定)に基づく配置状況

【平成23年度】**中学校9校、小学校30校**

【令和3年度】**中学校6校、小学校17校**

＜再配置前（平成23年度）＞

町域	中学校区	生徒数	学級数	学校名	児童数	学級数
峰山町域	峰山中学校	421	13	峰山小学校	201	9
				吉原小学校	139	6
				五箇小学校	56	6
				新山小学校	202	9
				丹波小学校	91	6
				長岡小学校	102	6
大宮町域	大宮中学校	329	10	大宮第一小学校	547	20
				大宮第二小学校	90	6
				大宮第三小学校	40	6
網野町域	網野中学校	389	12	網野北小学校	282	12
				網野南小学校	232	10
				郷小学校	54	5
				島津小学校	101	6
				三津小学校	21	4
	橋中学校	92	3	橋小学校	162	7
丹後町域	間人中学校	124	4	豊栄小学校	83	6
	宇川中学校	39	3	間人小学校	151	6
芥菜町域	芥菜中学校	196	7	宇川小学校	61	6
				吉野小学校	74	6
				湯谷小学校	60	6
				鳥取小学校	99	6
				黒部小学校	73	6
野間小学校	7	3				
久美浜町域	久美浜中学校	174	6	久美浜小学校	132	6
				田村小学校	45	6
				神野小学校	70	6
				湊小学校	55	5
	高龍中学校	104	4	川上小学校	48	6
				海部小学校	54	6
佐瀬小学校	73	6				
計	9校	1,868	62	30校	3,405	204

＜再配置後（令和3年度）＞

町域	中学校区	生徒数	学級数	学校名	児童数	学級数
峰山町域	峰山中学校	321	10	峰山小学校	119	6
				いさなご小学校 (平成28年4月)	182	8
				しんざん小学校 (平成30年4月)	194	6
				長岡小学校	63	6
大宮町域	大宮中学校	270	9	大宮第一小学校	422	15
				大宮南小学校 (平成25年4月)	93	6
網野町域	網野中学校 (平成27年4月)	300	9	網野北小学校	172	6
				網野南小学校 (平成26年4月)	155	6
				島津小学校 (平成24年4月)	56	6
				橋小学校	90	6
				丹後町域	丹後中学校 (平成26年4月)	106
芥菜町域	芥菜中学校	121	5	宇川小学校	44	6
				吉野小学校	60	6
久美浜町域	久美浜中学校 (平成25年4月)	208	6	芥菜小学校 (平成26年4月)	139	6
				久美浜小学校	112	6
				かぶと山小学校 (平成25年4月)	149	7
				高龍小学校 (平成26年4月)	145	6
計	6校	1,326	44	17校	2,343	115



# 3 教育の現状 -京丹後市の教育施策-

## ②特徴的な教育施策 (キ)奨学金制度

- 経済的理由により修学困難なかたに対する奨学金の給付及び貸付
- 地域産業などの担い手となる若者の人材確保及び定住を推進するため、京丹後市内に定住するかたに対する定住促進奨学金返還支援制度

### ■給付奨学金

(ア) 対象者

- ・市民税非課税世帯及び市民税所得割非課税世帯
- ・大学等、専修学校に在学する人
- ・他制度の給付型奨学金を受けていない人 など

(イ) 給付金額

- ・市民税非課税世帯に属する学生 月額12,000円  
(年額14万4,000円)
- ・市民税所得割非課税世帯に属する学生 月額10,000円  
(年額12万円)

### ■貸付奨学金

(ア) 対象者

- ・申請年度の4月に大学等、専修学校への進学希望者 など

(イ) 貸付限度額

- ・修学支度金(正規の修業年限の範囲内) 年額100万円
- ・入学支度金(大学等に進学するときの1回限り) 70万円

### ■定住促進奨学金返還支援補助金

京丹後市内に定住し、かつ就業(京丹後市通勤圏)するかたの奨学金の返還を最大10年間で360万円補助

(ア) 対象者

大学等を卒業した満30歳未満のかたで、京丹後市内に継続して10年以上定住し、かつ正規雇用等により就業するかた(国家公務員又は地方公務員は除く。)

(イ) 支援となる奨学金

独立行政法人日本学生支援機構ほか

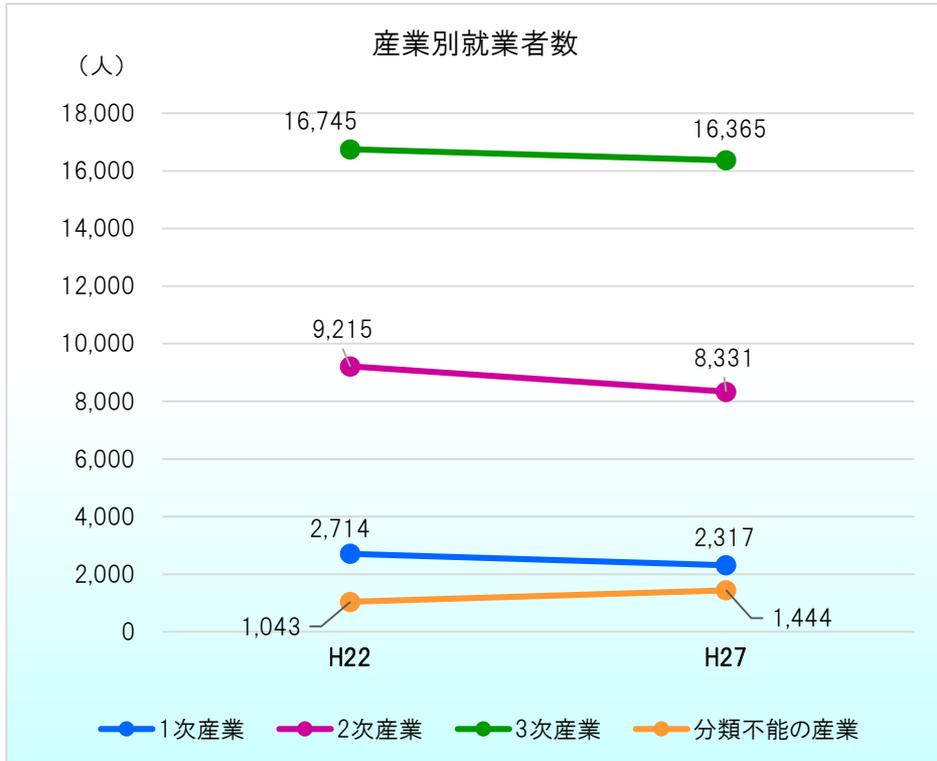
(ウ) 支援の内容

補助金の交付を申請する年度の前年度の10月1日から起算した1年間における各月の奨学金返還金相当額(3万円を限度)の合計額として年額36万円以内、期間は、継続して10年以内とする。

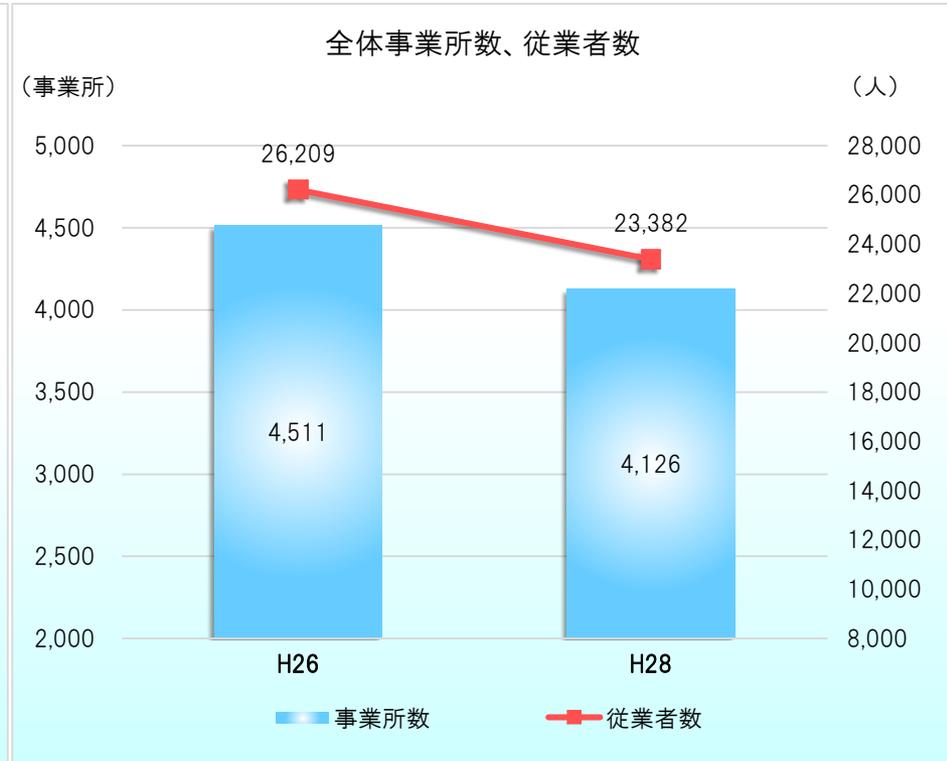


# 4 産業の現状 - 産業別就業者数、全体事業所数・従業員数 -

- 長期的にみると、本市では、就業人口全体の縮小とともに、就業人口比率が大きく変わっており、第一次産業、第二次産業が大幅に減少(主に織物業)し、相対的には第三次産業が増加(主要因はサービス業)している。
- 平成27年の産業別就業人口は、第一次産業が8.6%、第二次産業が30.8%、第三次産業が60.6%を占めている。
- 事業所の減少が多い要因としては、小規模事業者の高齢化による廃業が多いことなどによる。



出典：市総務課(国勢調査)

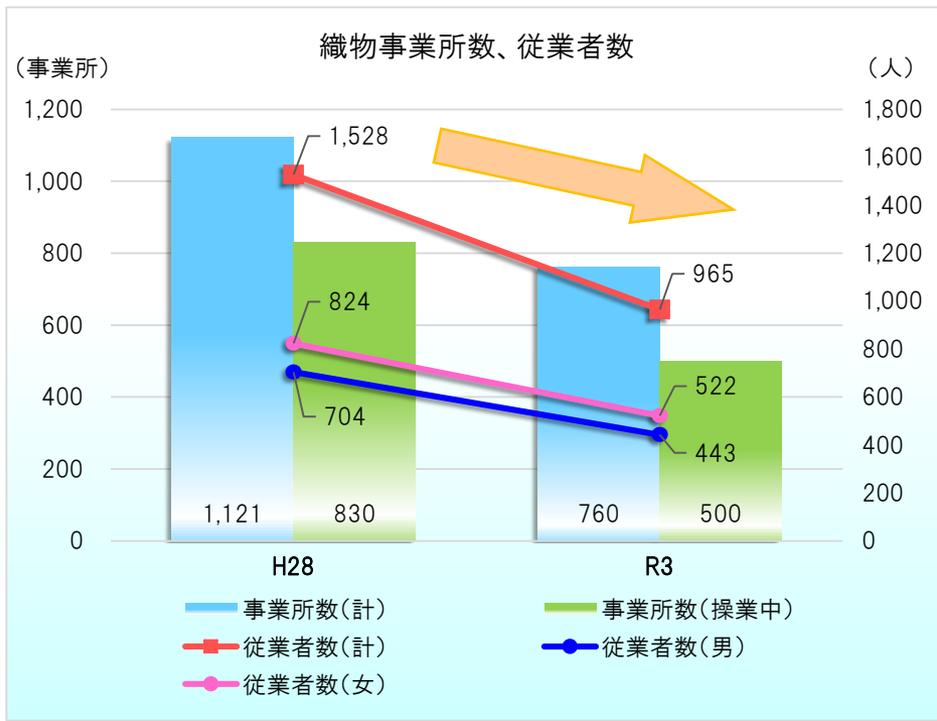


出典：市総務課(H26:工業統計調査、H28:経済センサス活動調査)

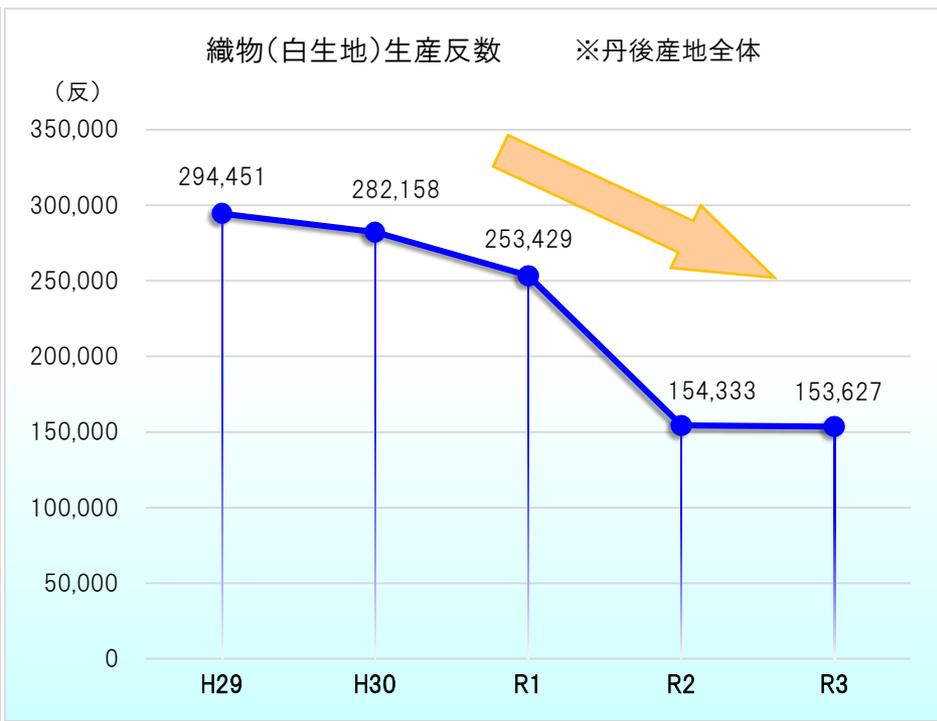


# 4 産業の現状 -織物業-

- 丹後の発展を担ってきた丹後ちりめんを中心とする織物業は、和装需要の減退や個人消費の減少、海外製品の相対的な増加などにより、織物事業所数、従業員数ともに大きく減少している。
- 織物(白生地)生産量は、昭和48年の920万反をピークに減少を続け、令和3年には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり15万反まで減少、最盛期の約1.6%の生産量まで減少している。



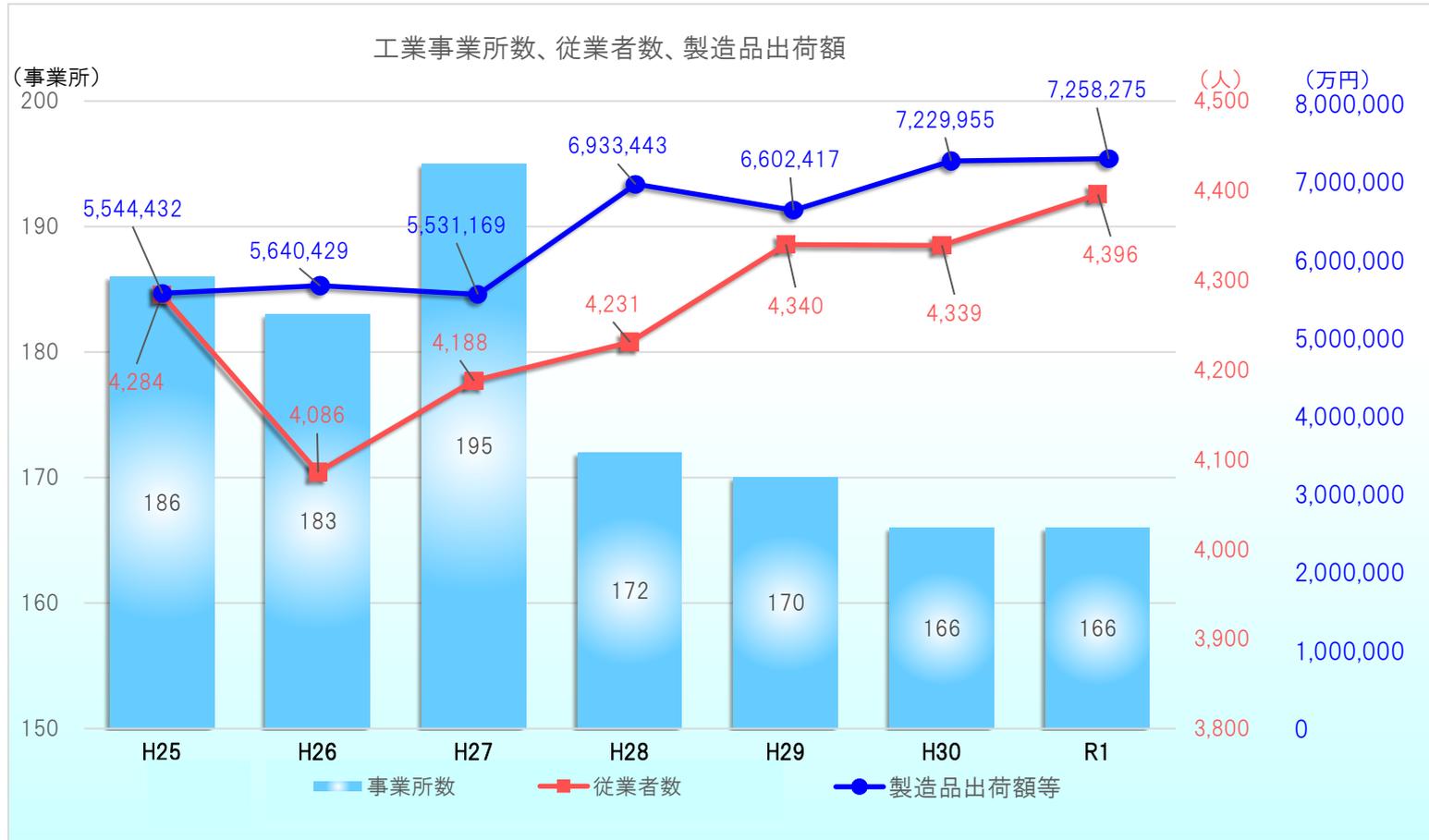
出典：市織物実態統計調査



出典：丹後織物工業組合

# 4 産業の現状 -工業-

○ 基幹産業である機械金属業が製造品出荷額、雇用の面においても本市の産業を牽引しており、増加傾向で推移している。

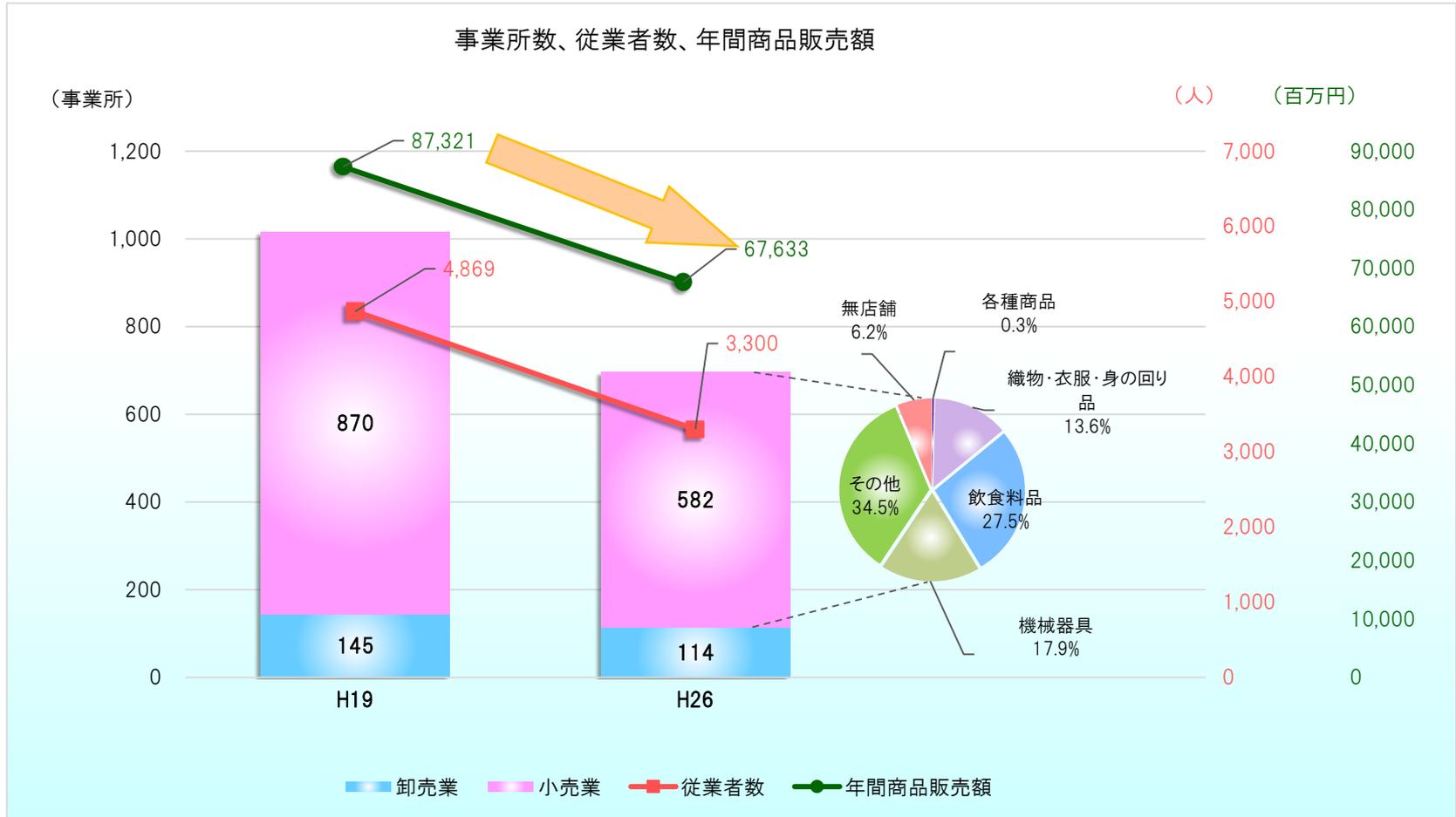


出典：市総務課(工業統計調査)



# 4 産業の現状 -商業-

○ 人口減少、小売業の形態や消費者の購買ニーズの変化(大型店の出店、ネット販売の普及など)により、地域の小規模小売店は、高齢化とともに廃業、閉店による減少が続いている。

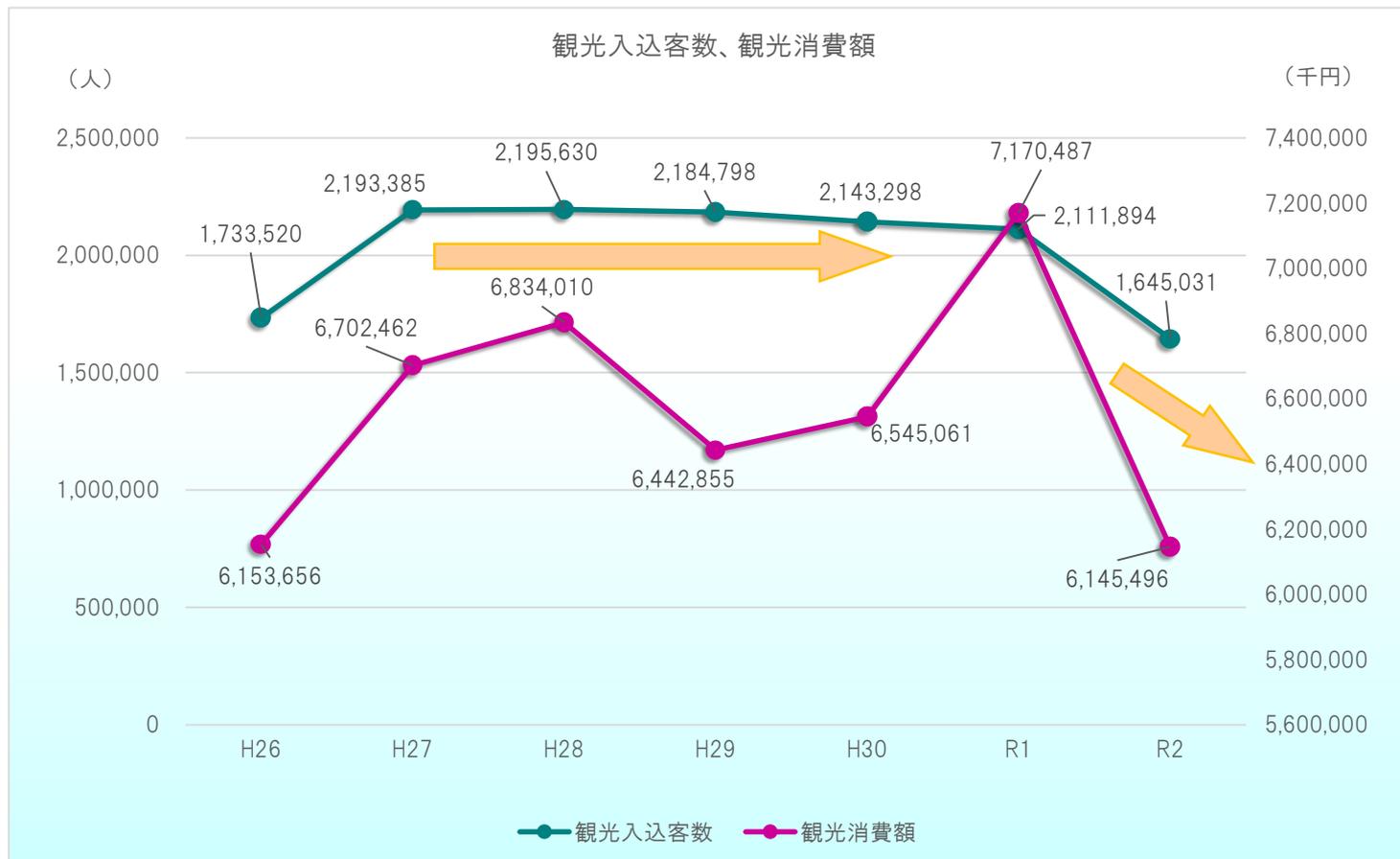


出典：市総務課(商業統計調査)



## 4 産業の現状 -観光業-

- 京都縦貫自動車道の全線開通、「海の京都」構想の推進などにより増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの発生で大きく減少。



出典：京都府



# 5 その他の取組 -ICT×高校生のアイデアで生み出す地方創生-

- 令和3年より、全国の高校生からICT技術を活用した新たなビジネスアイデアを募集し、コンテストを開催。
- グランプリに輝いたアイデアは、実際にビジネスモデル化して、社会問題解決×地方創生に貢献。

## 令和3年開催

9:00-12:00

### ICT×地方創生 甲子園

2021.  
**11.7**  
(SUN)

全国の高校生が地方創生事業のビジネスアイデアを  
発表！柔軟な発想で地域創生につながるムーブメントを  
ここ京丹後から生み出す！！

#### ファイナリスト

- 専修大学附属高等学校
- 千葉県立銚子商業高等学校
- 武蔵野大学附属千代田高等学院
- 東京都立多摩高等学校
- 埼玉県立所沢中央高等学校
- 聖学院高等学校
- 大手前高松高等学校
- 東京都立多摩高等学校
- 秋田県立平成高等学校
- 屋久島おおぞら高等学校・筑波大学附属坂戸高等学校
- 和歌山県立日高高等学校中津分校
- 京都府立丹後緑風高等学校 網野学舎
- 慶應義塾湘南藤沢高等部
- 京都府立清新高等学校

全国 **109** チームのエントリー

選抜 **14** チームの高校生が出場！！

## グランプリ 【みらいのジュータロー賞】



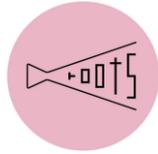
**山口 由人さん**(聖学院高等学校:東京都)  
「気候変動」や「LGBTQ」など、未成年が自ら  
課題発見・提起を行い、その解決のために企  
業と共創する際、サポートと橋渡しをする仕組  
みを構築するというもの。

これまで40社以上と共創してきたノウハウを  
生かし、京丹後市で実証実験を行いたい。



# 5 その他の取組 -京丹後市未来チャレンジ交流センター(愛称:roots)-

- 高校生や若者が一緒になって未来のまちづくりのためのアイデアを出し合いながら、その企画やプロジェクト化に取り組む。
- ここを拠点に本市出身者を含め現役大学生や地域の事業者等も巻き込み、未来のまちづくりを一緒に考えたり、地域を知るための機会を創り出したりすることで、地元への愛着心を育て、将来のUターン者や関係人口の増加につなげる。



## 主な事業内容

プロジェクト化・実施のコーディネート

アイデア・企画の相談・コーディネート

地域、企業、関係団体等、  
プロジェクトの協力・交流・支援して  
くれる団体とのつなぎ役

例えば/

(例) <地域の職業探究>

地元で頑張っている起業家や、  
地域を支える伝統産業や、魅力  
あふれる企業の方などに来てもらい、  
**京丹後市で働くことの面白さや、  
魅力を発見**する。  
将来戻ってくる時の仕事や働き方  
を考えるきっかけづくりをする。

(例) <商品開発>

高校生が集まり、力を合わせて  
**地域の魅力を発信する商品開発**  
にチャレンジする。  
商品の企画やPR、クラウドファンディングのやり方を学び、  
自分たちでモノづくりができる  
機会を応援する。

## イベント事例

ダンスイベント

高校生にとっての人生初企画  
「地域に刺激を」コロナ禍でも楽しむ



Talk of roots

～「産地」の魅力を知ろう～  
事業者の話をも直接機会づくり



公開企画会議

あなたの”やってみたい!”と、  
誰かの”やってみたい!”を掛け合わせて、  
実際に企画を動かしてみませんか?





## 丹後万博2022 — 伝統 × 革新 — 開催概要

### ■テーマ

つながり、つなげる 人と人 人とももの 過去の現在 現在と未来

### ■事業コンセプト・3つの柱

I 未来の丹後を「探る」 II 未来の丹後を「創る」 III 未来の丹後に「触れる」

丹後万博開催実行委員会

## 1. 開催概要

- 日時 10月30日(日) 9時~16時
- 会場 丹後王国「食のみやこ」
- 来場者数 2,500人(目標500人)
- 主催 丹後万博開催実行委員会
- 共催 京丹後市
- 後援 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- 予算 市からの補助金150万円(会場費、音響、原材料費等)

### 【丹後万博開催のねらい】

- ① SDG s を「自分事」に
- ② 将来のまちの姿を考える機会に
- ③ 大阪・関西万博に向けた機運を高める



実行委員会メンバーがデザインしたポスター

## 2. 主なコンテンツ

【高】= 高校生が中心となって企画運営するコンテンツ

### ステージイベント

- ・【高】ステージ企画運営・丹後万博オリジナルテーマソングの作成
- ・【高】SDG s ファッションショー
- ・【高】高校軽音楽部、吹奏楽部等多世代交流ステージ
- ・【高】高校新体操部による丹後万博オリジナルステージ
- ・サザエさん体操
- ・ゼロカーボンクイズ大会

### 企画展示・販売イベント

- ・【高】高校生SDG s レストラン
- ・【高】Food Loss ran~無駄の中の可能性~
- ・【高】海ごみアップサイクル製品の販売
- ・【高】海洋ごみアートの展示
- ・【高】高校生による研究成果の展示
- ・【高】SNSを使ったSDG s 発信ブース
- ・子育て応援フリーマーケット
- ・地元企業・団体出展コーナー

### 体験・交流イベント

- ・【高】ワールドカフェ
- ・【高】つくろう。電気。
- ・【高】木工体験
- ・健康ウォーキング
- ・地元企業・団体出展コーナー

### その他

- ・SDG s の普及促進ツール「まちのコイン」の実証実験(各種体験に参加してSDG s ポイントを獲得)
- ⇒【高】ポイントに応じて高校生が地元事業者と連携して作成した景品(木工製品、丹後ちりめんアップサイクル製品等)と交換

※市主催の「環境フェア」、「ICT×地方創生甲子園」と合同開催

## 6 参考 -Society5.0に対応した教育・人材育成に係る国・府の動き-

- 中央教育審議会において、令和の日本型学校教育が目指す姿として、これまでのグローバル人材の育成等はもとより、STEAM教育やデジタルを活用した教育等の新しい時代に対応した教育の推進について提言。

### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)(中央教育審議会(令和3年1月26日))(抜粋)①

#### 3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

##### ○STEAM 教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成

STEAM 教育は、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、産業界等と連携し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく高度な内容となるものであることから、高等学校における教科等横断的な学習の中で重点的に取り組むべきものであるが、その土台として、幼児期からのものづくり体験や科学的な体験の充実、小学校、中学校での各教科等や総合的な学習の時間における教科等横断的な学習や探究的な学習、プログラミング教育などの充実に努めることも重要である。さらに、小学校、中学校においても、児童生徒の学習の状況によっては教科等横断的な学習の中で STEAM 教育に取り組むことも考えられる。

#### 6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について

##### ○教師の対面指導と遠隔授業等を融合した授業づくり

- 学習活動の質を高めるため、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校の授業時間内において、教師による対面指導に加え、目的に応じ遠隔授業やオンデマンドの動画教材等を取り入れた授業モデルを展開するべきである。

##### ○高等学校における遠隔授業の活用

- 高等学校における同時双方向型の遠隔授業の実施について、単位数の算定、対面により行う授業の実施などの要件の見直しを行い、教師による対面指導と遠隔授業を融合させた柔軟な授業方法を可能とし、多様かつ高度な学習機会の充実を図るべきである。



## 6 参考 -Society5.0に対応した教育・人材育成に係る国・府の動き-

- 中山間地等にあっても、デジタルを活用することにより、地理的制約等を超えて質の高い教育を子供たちに提供していくことの必要性について提言。

### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)(中央教育審議会(令和3年1月26日))(抜粋)②

#### 8. 人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設の在り方について

##### ○中山間地域や離島などに立地する学校における教育資源の活用・共有

- 中山間地域や離島などの地域に立地する小規模な学校においては、自校の教育資源に限りがあり、単独で児童生徒の多様なニーズの全てに対応することは困難であることから、「自前主義」からの脱却を図る必要がある。
- 例えば、義務教育段階においては、山間・へき地や、小規模校などの学校で児童生徒間の多様な交流や専門家による対面での指導が困難な場合に、遠隔授業を積極的に活用することにより、児童生徒が多様な意見や考えに触れたり、協働して学習に取り組む機会の充実を図り、また、児童生徒の学習活動の質を高めるとともに、教師の資質向上を図る必要がある。
- また、高等学校段階においては、中山間地域や離島などの地域に立地する複数の高等学校を含めたネットワークを構築し、遠隔授業を実施するなど、ICTも活用してそれぞれが強みを有する科目を選択的に履修することを可能とし、様々な教育資源を活用することによって、小規模校単独ではなし得ない教育活動を行うことが求められている。こうした取組を可能とするため、学校間連携の見直しや遠隔授業の推進を図り、複数の学校による連携・協働体制を整備するための制度的・財政的措置を講じることが必要である。



## 6 参考 -Society5.0に対応した教育・人材育成に係る国・府の動き-

- 中央教育審議会のみならず、政府の閣議決定文書において、STEAM教育や起業家教育(アントレプレナーシップ教育)の重要性について提言。

### 経済財政運営と改革の基本方針 2022(令和4年6月7日閣議決定)(抜粋)

発達段階も踏まえつつ、同一の年齢・内容・教材等の前提に過度にとらわれず、全ての学校段階において、探究・STEAM・起業家教育等の抜本強化を図る。

### スタートアップ育成5か年計画(新しい資本主義実現会議決定(令和4年11月))(抜粋)

小中高生を対象にして、起業家を講師に招いての起業家教育の支援プログラムの新設や、小中高生向けに総合的学習等の授業時間も活用した起業家教育の実施の拡大を図る。さらに、起業家教育に体系的に取り組む高校・高等専門学校や、STEM分野で高い能力を有する小中高生に対する教育機会の支援を強化する。



## 6 参考 -Society5.0に対応した教育・人材育成に係る国・府の動き-

- 令和4年3月に「府立高の在り方ビジョン」を策定し、新しい時代において府立高校が目指すべき方向性や将来像を提示。
- 令和4年11月に「魅力ある府立高校づくり懇話会」を設置し、当該ビジョンを基に具体化するための検討を開始。

### 府立高の在り方ビジョン(京都府教育委員会(令和4年3月))(抜粋)

#### ○新しい時代に応じた探究的な学びや学習スタイルの構築

##### 【目指す方向性】

- ① 探究的な学びや教科等横断的な学びの充実
  - ・課題解決型の探究的な学びや、文系・理系という枠組みにとらわれない教科等横断的な学習(STEAM教育)を推進し、幅広い分野で新しい価値を提供できる人材を育成する。
- ② 生徒1人1台端末を導入した新たな学びの推進
  - ・学習用端末(タブレット)の生徒1人1台の導入をはじめとするICT教育環境の整備・充実により、個別最適な学びと主体的・協働的な学びを推進する。
- ③ ハイブリッド型の新たな学習スタイルの構築
  - ・オンライン教育と対面式教育を組み合わせたハイブリッド型の教育形態により、生徒が自らの学習進度や興味・関心等に応じて学べるようにするなど、新たな学習スタイルを構築する。
- ④ 情報活用能力の育成
  - ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展を見据え、ICTの活用等を通じて、情報を収集・整理・発信する力など、よりよい未来社会を切り拓くために必要な能力を育成する。

#### ○地域や企業、高等教育機関・研究機関等との連携強化

既に北部地域の一部の市町においては、地域内に設置されている府立高校の教育活動に対する企画提案や高校の魅力の発信、高校と地域との連携に関わる支援などを担うコーディネーターを配置していただいている。今後は、地域の実情を踏まえつつ、こうした地域社会への参画や協力を得る仕組みを通じて、府立高校を取り巻く関係者間に当事者意識が醸成され、共有されることが望まれる。

